

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-64)、
廃棄物管理施設(39))」

2. 日時：令和5年6月12日(月) 13時30分～16時10分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、岸野主任安全審査官、羽場崎主任安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官

日本原燃株式会社

決得 執行役員 再処理・MOX 設工認総括副責任者 他2名

関西電力株式会社

原子力事業部 プラント・保全技術グループ マネジャー

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

株式会社大林組 原子力本部 設計第一部 担当部長

東電設計株式会社 土木部耐震技術部 担当職

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和5年6月8日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・岩盤部分の物性値等の設定について
- ・岩盤部分の非線形性に係る検討について
- ・岩盤部分の減衰定数に係る検討について
- ・表層地盤の物性値に係る検討について

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・岩盤部分の物性値等の設定について、近傍のデータを工学的に同一に扱えるとして平均化して設定しているが、その妥当性の根拠を整理して説明する。
- ・岩盤部分の非線形性に係る検討について、非線形性を考慮した地震動と考

慮しない地震動との比較において有意な差が無いとしているが、その判断の根拠を整理して説明する。

- ・岩盤部分の減衰定数に係る検討について、検討のロジックに基づき資料構成や説明内容の位置付けを整理するとともに、検討した結果の減衰定数をどのように設計に用いるのか明らかにする。
- ・表層地盤の物性値に係る検討について、流動化処理土の外側の表層地盤の状態を説明する。また、各表層地盤の種類毎に物性値を平均化できるとしている根拠を整理して説明する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

- ※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

7. その他

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更

の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html

- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 令和5年6月8日

「日本原燃(株) 再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
00:00:01	原子力規制庁の武田です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開催します。
00:00:06	本日のヒアリングは、令和4年の12月に申請があった設工認申請につきまして、
00:00:12	6月の8日に提出があった資料をもとに、率確認を行うものになります。
00:00:18	まず規制庁側の出席者ですが、本庁側から各調査官岸野上出、竹田、Webから浜崎が出席しております。
00:00:28	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と、
00:00:32	それぞれの担当の役割について説明をいただき、本日のヒアリングでの説明範囲と達成目標について説明をお願いいたします。
00:00:42	はい。日本原燃の加瀬でございます。まず私の方から日本原燃側の本日の出席、
00:00:48	ご紹介させていただきます。
00:00:49	日本原燃より決定
00:00:51	を長谷山口。
00:00:53	関西電力より野本様
00:00:55	設計より、宇野様、佐藤三菱重工さんより佐藤様、大林組より和田様。以上の
00:01:03	7人が演習
00:01:10	本日のヒアリングでございます。経理、ヒアリングでございますけれども、6月8日に提出させていただきました四つの広場部分の墓石の設定、
00:01:21	それから岩盤部の非正規、
00:01:23	岩盤部分の減衰定数に係る検討、表層地盤の物性気にかかる検討の4種類の資料につきまして、我々の地盤物性の考え方の根拠となる部分、
00:01:36	分析結果につきまして、今の木田ではございますけれどもまとめたものでございます。この資料の事実関係についてご確認いただくというのが本日の目標であるというふうに考えてございます。以上でございます。
00:01:51	竹田です。ありがとうございます。
00:01:54	ヒアリング開始事実確認開始に当たりまして、規制庁がご覧何か、事前確認等はございますでしょうか。

00:02:04	それで日本原燃の方から資料の説明の方をお願いいたします。はい、承知いたしました関西電力野本でございます。
00:02:10	まずですね、順番にちょっと御説明とは思いますが、一応4パ四つの肥料、
00:02:19	追加で5、補足すべきことを、一端をまとめて御説明かなというふうに思っております。よろしゅうございますか。そういう形で規制庁、加茂ですけど、もう1個、
00:02:31	1個1個、はい。荘司。
00:02:37	はないんです
00:02:43	から、まず、ご説明申し上げます。岩盤部分の安保
00:02:49	ましては、この資料の中でですね、本来、あるべき姿の小布施気をつけて、
00:02:56	して、まずは自民のところで、
00:02:59	これを考え方を示してございますけども、2ポツ目のところで基本的な考え方を示しております。
00:03:06	この中でですね岩盤の物性器を一般的標準的な設定方法として、整備するに当たります、この場合は逆4601191987の5.2、25の機械に基づきまして、
00:03:21	一般的標準的な考え方といったものを整理いたしまして、それに基づきますとPS検層に基づき設定するのがふさわしいこと、それから、その平均値をもって評価するというのが必余裕分
00:03:38	今回ですね戸田清資金より求められたそういうふうな物性値を使うというのは、地盤の成層性を考慮した解析モデルとして、これは適用可であると。
00:03:49	多様な弱の記載に基づきまして、それを前提に、この設定について、PS検層のデータをもとに設定いたしますという考え方を示してございます。
00:04:01	2.2条のところからですね、ご説明申し上げますのが、分析の設定方法につきまして、ご説明しております、PS検層の
00:04:14	結果につきまして、
00:04:16	それを、その境界の設定の仕方等々を設定する、すいません境界設定の仕方それから、単位いい堆積場量の設定の仕方として、必要水引結果に基づき設定したということ。

00:04:32	を記載してございます。で、ドイツ岩種内において、質疑密度速度結果の傾向の切りかわりが確認できる場合の、
00:04:43	設定につきましても、この中で説明しているというところでございます。
00:04:50	で、この内容につきましては、補足説明資料の耐震建物 08 の今モデル及び物性値の設定についての、建物構築物による
00:05:02	地震の算定に用いるを一番までの設定に示しております。
00:05:09	ものと、どういう方法であるということ、
00:05:15	そういう形ですね、
00:05:16	設定をしますということをご説明しております、その設定、
00:05:21	そのデータに基づくデータというのも順次この中でお示ししている。
00:05:28	ございます。
00:05:29	で、
00:05:33	そうですね。
00:05:34	そういう
00:05:35	2 エリアそれぞれつい
00:05:37	それぞれ、
00:05:39	基本的にこれをもとに設定するものが
00:05:44	ないやり方である。
00:05:45	当然我々も
00:05:55	説明がありました内容。
00:05:58	町側から確認があればお願いいたします。
00:06:06	平木先生の機種ですけれど、私の方から、
00:06:10	何点か確認させて、
00:06:12	通し梶野 8 階の方に、
00:06:19	設定に用いた直下の PS 原則を承認記載されている。
00:06:23	もう、
00:06:24	この
00:06:27	前提に立った考え方の説明は 4 月の会合でも、
00:06:31	まとめて、
00:06:33	特に例がない。
00:06:37	ところの考え方はですね直下のものを使うそれから直下がない場合にはあの周辺使うということで、そこはどこぞに開始。

00:06:46	つもりだったところです。
00:06:51	5 ページの文章のところ、
00:06:53	ありますが、
00:06:54	当然直下のところ、
00:07:04	やりますと、
00:07:05	やられてる。
00:07:07	他にない場合につきましては、
00:07:10	そういった、
00:07:15	昭島
00:07:23	はい。
00:07:27	パークもちょっと礼状して質問したんですけど、PUZ 周辺、
00:07:32	仲村野木のように、データがある。
00:07:35	うん。
00:07:36	加地坂。
00:07:39	うん。
00:07:40	はい。日本原燃の大橋です。今そちらにつきましては使っていないと。
00:07:46	そして、直下にある場合はそちらの方を優先的に使う。
00:07:54	近傍には他のデータがあってもそれは、
00:07:57	入れない。
00:07:58	そうですね。
00:08:00	最近
00:08:12	ね、平面的な位置関係で、
00:08:17	第 1 回申請の、
00:08:21	もう直下地盤
00:08:27	の周辺の、2、3ヶ所
00:08:30	をピックアップして、
00:08:33	それを比較してですね、直送としてどれが適切かというのを検討した上で多少、
00:08:40	4 でした。
00:08:40	はい。
00:08:47	はい。日本原燃長瀬でございます。そちらにつきましてはまず第 1 回、
00:09:00	第 1 回の
00:09:01	4B の

00:09:04	敷地の中央地盤、
00:09:25	チューニングみたいなのところの層境界
00:09:30	一方で、
00:09:38	涌井
00:09:55	そんな感じなんで、
00:09:57	あるものについてはする。
00:10:00	あるものと今回すべてある。
00:10:08	ちょっとその関係ですね。
00:10:22	当初、21、
00:10:25	こちらの方ですね、PS 検層行データっていうか、17 ページ。
00:10:32	並んでる。
00:10:34	その下に、各協会の城面レベルの計算式が、
00:10:40	どう、これは、このページは経営周辺グループですね。
00:10:44	の、各速度境界をこういうふうにまとめましたという説明かと。
00:10:51	うん。
00:10:52	柱状図の下に説明しか載っている、その二つ目ですね、ダイワン（株）層の上限レベル。
00:11:01	浅野式を見ますと、
00:11:03	標高高さが七つのって終わる中で平均として、
00:11:08	うん。
00:11:09	一番最後の数字がマイナス 73 点。
00:11:14	他の 6 地点割ってみると、37 から 50 人ぐらいで、
00:11:19	この -73.6 だけ。
00:11:22	行事深いんですよ。
00:11:24	%と比べると 20 から 30 メーター。
00:11:27	うん。深井。
00:11:29	これはどこかなんて言いますと上の注兵頭一番右端の、
00:11:33	M アンダーバー。
00:11:36	だと思います。
00:11:38	うん。
00:11:39	ここだけ、赤いのに何か他と一緒にくたにしてまして。
00:11:45	まぜこぜにして、
00:11:47	この N-1 点。

00:11:52	農協施設からは知ってる。
00:11:54	いうことは、どういうふうの確認をしたかっていうのは、
00:11:58	はい。日本原燃の大橋でございますこちらにつきましては岩種境界につきましてはおっしゃる通り傾向を細かく見ていけば、この項だけちょっと特徴が違うというところそれはおっしゃる通りいえるものかと思いません。
00:12:09	それを一緒に平均していいかという議論なんですけども、結局我々今回地盤モデルを、
00:12:15	速度構造っていうところを最後の、
00:12:22	岡部
00:12:25	明らかに G0 しかり Vs の値がいきなり
00:12:28	極端に
00:12:30	地層境界にあれば、当然そこっていうのは傾向の違いとしてとらえる必要があると思うんですが、実際 NU こうなので、
00:12:38	19、
00:12:45	伊佐
00:12:50	は及ぼさないというところで、
00:12:53	何ていうんすかね重視というとおかしい。
00:13:06	同じ。
00:13:16	義務 - 有効。
00:13:21	その他の 6 時点と、
00:13:24	危険だとその境界の上下で、インピーダンスか。
00:13:30	だから実際のところある。
00:13:32	それを無視してまた決めなきゃいけないのかなと。
00:13:35	はい。日本原燃の小形です他のページにも同じように前のページ
00:13:41	ページ
00:13:42	同じこちらの周辺のところグループのところの PS 検層を並べてございますけれども、いずれも細粒砂岩層と泥岩層大体 50 メートルとか、それらの方あるわけ。
00:13:53	ですが、
00:13:55	岩種境界があるわけなんですけどそこ
00:13:58	の方で、
00:13:59	いうところは、

00:14:00	しゃべれは
00:14:05	ここはちょっと他の横並びにしたと。
00:14:09	だけ随分深い地点で、
00:14:13	でも
00:14:14	例えば 30 ページ。
00:14:21	うん。
00:14:22	うん。
00:14:25	これも泥岩とか武装しな。
00:14:28	当間 MACCS 未満の差で見ると 16 メーター
00:14:33	のように 89 ページ。
00:14:36	もう、
00:14:39	2 万 23 メーターぐらい差がある。
00:14:43	県も、事故と一緒に。
00:14:46	見せられる。
00:14:48	ここ、こういったところも先ほど言われたような、檀関戸。
00:14:52	全体を見て、平均ショップの問題ない。
00:14:56	確認済みという、
00:14:58	はい。おっしゃる通りですただすべてにおいてインピーダンスの内装がすべてかというとは必ずしもそうじゃないってのは当然認めます。ただ、やはりこちらのある意味水平成層的な地盤をこのグループの中では仮定するという仮定でございますので、
00:15:11	その中では、大体この例えば五つあるうちの四つとかっていうところが同じような感想を示していれば一つの特 1 というところは、その平均化の中で考えて、このグループ全体としての傾向を掴むというところを今回は重視したと。
00:15:24	ではございます。
00:15:30	あの、
00:15:31	特異なものも実は示すものがあるんだけど、それは、
00:15:36	トップが
00:15:37	そういうことですね得意と言ってもそれほど当然大きな日本原燃の大町ですそれほど当然、余りにも違うようなインピーダンスというふうには見受け、我々受けて、
00:15:57	はい。

00:16:03	思ってますよっていう辺りの、
00:16:07	規制庁、嶋、はい。
00:16:18	はい、日本原燃 5 月でございます。ちょっと例えばでいきますと、86 ページの、
00:16:24	さっき
00:16:29	89 ページの
00:16:36	はい、こちらの方のところのピンク色のところ軽い人なんか、
00:16:41	医師凝灰岩層ですかね、というところの明るい凝灰岩、ピンク色の層が若干他の 4 行よりも違っているというようなところ、こちらについて我々の判断について、ご説明の方させていた
00:16:55	こちらが一番右側の KP 工程
00:17:00	との境界だけを見てください。
00:17:04	協会、
00:17:08	12 と 86 ページ。
00:17:11	になってござい。
00:17:18	こちらの外し凝灰岩層というところが、Vs の方資料の右側のところをご覧いただきますと、大体マイナス 20 と縦軸がなっている。
00:17:29	こちらのところで V
00:17:31	-590 からな。
00:17:35	第 100
00:17:37	何十 AV メーターパーセクが
00:17:40	一方でございますけれど
00:17:42	他のところへ、
00:17:43	と、例えばこの
00:17:45	1 個前の 85 ページの地域移行というところなんかを見ていただきたい。
00:17:49	いうのも、
00:17:50	こちらはちょっとすいません横並びで 89 ページもちょっと横並びで見てもらえればなんですけどこちらの他の方と同じようなところにピンク色のその状態があるというようなところで、
00:18:00	こちらに、
00:18:03	先ほどの軽石凝灰岩の層、こちらはですねマイナス大体 90 名。
00:18:08	違うか。
00:18:23	-4。

00:18:25	-45。
00:18:26	というところでございましてこちらにつきましても速度としましてはちょっといろんな間がまざっているとか、細かいがまざっているところでございですが軽石凝灰岩という意味では大体-50メートル
00:18:37	頃に境界がありましてそこでVsの俺が
00:18:46	株主凝灰岩層のところでは速度境界でも
00:18:52	これを違いとしてとらえるのかという観点で、
00:18:55	けども、正直SHAKEに入れるという最終的な目標我々あるというところで、
00:19:00	けれどもその時には、あまりこう途中の方で、速度が変わるというところにつきましても、入力地震動の大きさにあんまり北尾大きな影響を与えないというところをこれまでの経験則なんで、
00:19:13	地表の方の結構波が出力、
00:19:15	ようなところだと、結構効いて、
00:19:23	地盤全体のこういう振動数とかにも大きく影響をおよぼしませんし、地盤全体の増幅率について
00:19:31	我々として思っているところでございますので、これがもし、それこそ層境界の深さ依存みたいところで、浅いところで切り替わってたら、あまり速度は変わらないけど、深いところで切り替わったら大きく、
00:19:42	そういったような、差があるんだったらやっぱりこれは特徴の違いとしてとらえるべきだと。
00:19:47	ここの違う深さであっても速度の上がり幅っていうところはほとんど変わら
00:19:56	んところは、
00:20:09	なんて言うと、
00:20:15	はい。ここは問題。
00:20:17	何だろう、これ。
00:20:20	いうような、
00:20:22	判断した上で、
00:20:24	だとか、
00:20:29	あります。
00:20:34	えっとそこら辺は

00:20:35	定性的な判断で、例えばこれがどの程度効いてくるかと。ただロープの差の検証だとかそういったことまではしてないし、する必要もないだろう。
00:20:47	うん。
00:20:48	はい。日本原燃の長谷でございますおっしゃる通りです。あくまで宗の並びの檀澤井さん探査という加速度の越智上がり方、深さ依存関係みたいなところはあまり変わらなくて、2層境界の違いだけであれば、
00:21:01	応答の確認までは施設とも、
00:21:05	考えております。
00:21:08	あと1点ちょっと確認です。また89ページ。
00:21:12	細井。
00:21:13	うん。
00:21:17	5時間の
00:21:20	層厚角速度境界もほぼ平均3基目。
00:21:25	えっと、三つあるうち一番上の岩盤のってやつ。
00:21:30	例えば三つ目のきたんです。
00:21:35	これって、多分5時間のうち、どっかに、それ
00:21:39	上限である。
00:21:40	確認で、
00:21:43	あるからわかってる
00:21:46	そうだ。
00:21:49	大丈夫。
00:21:50	六ヶ所さしてるか。
00:21:52	はい。
00:21:53	日本原燃合わせ少々お待ちください。はい。青木北野が、その5地点のデータがあると言いながら、その境界が確認できてない地点について、
00:22:05	は、他の4地点の平均値を結局当てはめて、
00:22:09	これって、
00:22:11	建物なんですかっていう確認はどうされたのかなっていう感じです。
00:22:28	日本原燃、間瀬すいません少々お待ち
00:22:43	日本原燃の加瀬でございます実際にやっている考えといたしましては、先ほど岸野さんおっしゃってございました通りの考えでございまして、こちらの89ページのところでいきますと、

00:22:54	この緑もその数にします。
00:22:56	佐田他関係ですね、雪まじり砂岩系のところにつきましては、右側の二つの項ですと深いところに行ってしまうと見えない。
00:23:04	ということがございますので、
00:23:05	-76。
00:23:07	一部深いところ
00:23:09	で見えないところがございますのでね。
00:23:14	それはおっしゃる通りでございます。その妥当性はというところで、
00:23:18	参りますと、ちょっとすみません、お答えがなかなか難しいな。
00:23:21	ものでしたので、ちょっとすみませんそちらにつきましても先ほどもありましたVsの関係でですね、ちょっとそこで速度境界の切りかわりがあるだとかそういったようなコンサルとともにちょっと
00:23:31	1度、そこのデータで平均化しても問題ないか、例えばそこにこの層境界があるとは言いつつVsがここも変わらないとかであれば、あくまでそれは支店形成を考慮する際の岩盤種別の切替わりだけの話になりますので、
00:23:44	そういったところでの考え方で、
00:23:50	こちらの見たが、5分の4だけを使っているので問題ないかというところはちょっとすみません考察のほうをちょっと
00:23:59	までは、
00:24:14	先ほどちょっとご説明が、
00:24:20	その他
00:24:27	みなさない。
00:24:29	定性的な
00:24:31	ん。
00:24:36	日本原燃の間瀬でございますこちらのページに限ら
00:24:39	ず、そちら我々の判断、多少確かに入って
00:24:53	は、規制庁は、
00:24:57	規制庁濱崎ですが、どなたか発話されますか。
00:25:01	浜崎。
00:25:04	はい。すみません規制庁羽場崎です。
00:25:06	今、記者等、越智さんのやりとりの中でなくて、もう少し各その地盤モデルを決める上での判断根拠とかですな決め方についての、

00:25:19	道筋みたいなものはもう少し説明してもらいたいということですね誤開 12 グループの大井、いわゆる基礎地盤モデルってのが出てきたかなというふうに認識してますけれども、
00:25:32	まだやはり中身について、我々も時間的なものがあるってよく精査できてないっていうのが現状です。
00:25:39	ちょっと細かな点なんですけどもお聞きしたいのがですね 41 ページの一井の
00:25:46	物性値のところのグループなんですけれども、結果的に
00:25:52	ここの H グループっていうのは 4B とを近接しているということで、4B に関しては、リオンのデータをそのまま使いますということで、
00:26:02	もモデル提示もすでにされてるわけで、それとの比較ができるんでいろいろわかりやすいんですけども、例えば今回、AG グループに、
00:26:13	当エリアだけじゃなくて、04 の PS 報の技術校ですかねこれ結果も踏まえてモデル化をして作ってると思うんですけども、
00:26:26	先ほどの話ですと、直下にあるものは、直下の
00:26:32	記録をもとに、モデル作りますっていうお話がありましたんで、
00:26:36	臨空ってまさに次の直下ですよ。要はですね AG の直下であるにもかかわらず、全 4 も含めると、
00:26:48	L4 で作った 4B と、地盤モデルが若干変わってきちゃってるんですけども、
00:26:56	そこら辺の考え方ってどうやってまとめられてるか、説明してもらいたいんですけども。
00:27:02	はい。日本原燃の岩瀬でございます。今の考え方は二つ課題があると思ってましてまず一つ目は、4 のところのなお、別のところ直下じゃ Ag 直下じゃないようなを使っている理由というところ、あと一つは第 1 回の時の 4B との違いという二つの観点だと思いますので一つ目のところ、
00:27:19	0 を使ってるところの観点からご説明いたします。こちらの Ag グループにつきましては 7 ページに地図をつけているところでございますけれども、こちらにございます通り AG グループの五つも建屋としては複数建屋分あるという
00:27:34	だけやね。
00:27:37	そういう意味で 4、

00:27:38	違う。
00:27:44	その隣にちょっとすいません名前建屋の名前は変えて、
00:27:48	いないんですけれども西田の方に南の方に H 建屋東の方に A 系建屋というところがございます、これらは Ss に対する波及影響の下位クラス施設というような位置付けになってございますのでこれらの施設もちゃんと網羅すべき網羅というか見るべきであろうという
00:28:03	ことで、
00:28:04	その近傍にあるというところも見べきであろうというは、
00:28:10	こういったところは、
00:28:13	次に
00:28:14	と違うモデルになっていることについてでございますが、につきまして同じ地図のところのページでございます。先ほど私の方からご説明差し上げました通り、
00:28:24	4 というのはそもそも PS 検層孔がないようなところの空っぽのエリアだったというところがございますので、そこから近いエリアとして L4 項を出したというところでは先ほどの A レーンをさせたときの目的であります、AG の隣にある建屋もきちんと見れるような穴をどうか探そうというところの観点は入りませんでしたので、
00:28:42	4B については 4 混だけでは、確認をしたというところが実態でございます。結果として実際にモデルとして平均化するしない、平均化するか、単独の医療法だけを持ってくるかというところでの差は、
00:28:54	確かに 4B と人の間では出てくるところでございますが、それぞれの施設に対しての入力地震動を出すという目的では、先ほどのボーリング孔を選んだ考え方というところに、照らしてみればおかしくはない考えなのかなというふうに我々は考えているところでございます。
00:29:09	またですね、4B の時に決めたときなんです、近くの L4 項をそのまま用いたというようなところの話でもあるんですけれども、実際といたしましては、4B の直下になくて、L を持っているようなお近くのやつを持ってくるという時にはですね、
00:29:24	その時に地質境界の A4B のすぐ下のところの地質境界なんかを見まして、ちょっと速度境界ないし地質構造の所、
00:29:34	なんていう兼子深さのチューニングみたいなところを曜日に合わせてやっているというところがございますので、やはりそれは各施設、対象と

	する施設に応じて必要に応じてチューニングする必要に応じて、ちょっと範囲を広げて平均化するというそのいった考え方の違いがありますので、
00:29:49	そこには違いが出て、しかるべきというかおかしくはないのであろうと我々は判断しているところです。
00:29:58	はい、規制庁浜崎谷津
00:30:01	概ねですね、大体こんな感じだろうとこちらで思ってたものと今大橋さんの説明って整合するかなと思ってて、そういう考え方も含めてですね、記載をしてもらいたいというのが一つと、
00:30:14	あともうちょっと細かい話をしますとですね 45 ページに L4 等で 4 の柱状図出てますよね。
00:30:25	何が違うかっていうと、今回の Ag グループって結構もう、細粒魚でもう統一し、
00:30:35	比較的解放基盤から深めのところですね、の鷹架に関しては埼玉でも統一されちゃってるんですけども、FO-B のときには途中でソリュサバを挟んでるんですね。
00:30:47	そこら辺の考え方も、この柱状図見る限りでは、デンヨーレーヨンにもそれ様に沿ってあるし、
00:30:58	何で今回処理さんの想定なくしちゃったのかなというかですね、そこら辺はちょっとわかりにくいんですけど、それは説明は可能ですか。
00:31:07	はい日本原燃の岩瀬でございます。そちらにつきましてはすみません。
00:31:26	おっしゃる
00:31:30	すと、今のは
00:31:32	おっしゃる
00:31:35	17.9 メートル。
00:31:39	薄井宗です。
00:31:40	ものが出て、
00:31:42	実際物としてはあるというふうな実態でございますんで、4B のときには単独校からだったというところの話もありましたので、単独校の地質境界が出てるんだったらそのまま使おうという判断は正直、
00:31:54	あったんですが、第 2 回我々今今回この G のところで決めた時には、これのある意味平均化するこの 2 行平均化するという作業をしようとなったときに、果たしてこの白書町

00:32:06	下に非常に薄層といっても仕事に非常に薄い1メートルあるなしぐらいのところもそうなのですが、これらにつきましても薄層として表現した上できちんと挟んであげるべきかというところの判断をする必要があるなというふうに考えた次第です。
00:32:18	そうなった時にこれの水槽のところ在地盤の入力地震動に与える影響というのが非常に微々たるものだというふうなところで判断をいたしまして、これらにつきましてはこの地質境界の平均化という観点からは、今回はちょっと外させていただいて、平均化の際にはそちらを無視するというような形をとらせていただきました。
00:32:36	で、その根拠につきましても一番、このヒアリングの最初の記者さんおっしゃっていただいて、おっしゃっていただいたコメントに私が返したのと同様に、速度なんかを見ておまして、その時に4243ページ辺りにPS検層の日本のデータつけてございますけれども、
00:32:52	このソリュ性のあるところで速度境界とか急に速度が落ち込むみたいな薄層の影響というのが見えるわけではないというところ、こういったところを根拠にしまして先ほど私が申しました判断であります。平均化する際には、
00:33:04	こういった薄層については無視するというようなところのプロセスで考えていたというところがございますちょっとすいません。確かに今文章とかを読んでいくと、
00:33:12	全然そういうところが書いていないのでそういったところをちょっときちんと書くというのは、これまでのご指摘とあわせて、対応させていただきたいと。
00:33:24	はい浜崎です。説明は理解しました理解といいますか、今の大橋さんの説明は理解しましたちょっと具体的に中身を細かく思って理解してるわけじゃないんですけど今の説明の趣旨は理解しました。で、
00:33:39	最後に言われたようにですね、4Bに関しては4行AIG直下で地盤モデルを作りますってということで、2、第1回認可おりにあるわけで、それがもう世の中出てるわけで、
00:33:51	それと、今回、AGグループ、何が違うというところですね、
00:33:58	一つのポイントになるかなと思ってますので、今おっしゃったように、そこら辺の記載がほとんど見当たらないということもあってですね、次に限らずですね、

00:34:08	要はこのモデルの信頼性を確保するという意味では、
00:34:13	時以外も含めてですね、先ほど来の、やはりどういうプロセスでモデルを設定したかというところの丁寧な説明というのが必要だと思いますので、対応の方お願いしたいと思います。
00:34:24	よろしいですか。はい。日本原燃の加瀬でございます。かしこまりましたすみません PA ないし A4 と同じように作っているというところでちょっと書いてしまっておりますので個別に今回発生した
00:34:35	ある意味判断みたいなところというのをちょっときちんと書くということが足りていなかったとは認識しております。こちらの方をきちんと追記をさせていただきたいと。
00:34:44	はい、規制庁小幡技術その細かいところがある意味科学的技術的な根拠として重要なポイントになり得るんですね、しっかりと書いてもらいたいと思います。私の方から以上です。
00:35:00	規制庁にはございますでしょうか。
00:35:07	よろしい。
00:35:10	じゃあ、次の資料。
00:35:13	はい、承知いたしました。関西電力の郷でございます。次は岩盤部分の非線形 2 課以前
00:35:20	に係る検討についての資料でございます。この資料につきましてはまず 1 ページ目の方からですねこの非線形性の影響についてその科学的次するか一般的なやり方として、どうなるかとどのようにアプローチするかと。
00:35:36	いうところのことを書いてございまして、1 ページ、右下 3 ページの真ん中ですね一般的標準的な考え方として、
00:35:46	この非線形化による剛性低下が入力地震動に及ぼす影響をについて、確認を行ってこの影響の代表で設計に考慮すべきかどうか判断するというのが一般的な考え方であると。
00:35:59	よう認識のもとこの検討をまとめているということでございます。
00:36:04	そのためにですねところのポツで、四つですね確認の事項ということを考えて、記載してございますけども、着疑似ゼロ岩盤のひずみ依存特性を考慮すると、
00:36:17	言ったところそれから
00:36:20	行って確認。

00:36:21	この検討対象として、岩盤部分を、を対象にしていくと言いたいなところそれからこの非線形性が入力地震動に与える影響について確認するというプロセス
00:36:36	この後ですね、3ページから10期0 γ のこの整理結果というのを記載して、これを用いまして、9ページのところからですね、肥後とか関野、
00:36:49	条件といたしましてどのような手順でやっていくかと言ったようなところを記載しているところでございます。
00:36:56	はい。
00:36:58	そうですね。はい。
00:37:00	すいません通しページ11ページのところから、その適用について記載しているところでございます。
00:37:08	この手順におきましてはここを記載しておりますように、この地震動のですね比較におきましては条件の
00:37:18	ある程度ですね減衰ですとか、
00:37:22	表層地盤物性値についてちょっと仮定する必要がございましたので、こちらにつきましては、従前の設工認で出ささせていただいております分析もしくは3%というのを、
00:37:34	ここで仮定する形での比較という形で日いただいております。
00:37:38	そうですね結果につきましては11ページからデータお示ししてございまして、それぞれの
00:37:47	線、それぞれのアンケートの中でですね、有効せん断ひずみとそれからへ収束剛性分布、それから収束物性き加速度応答スペクトル
00:37:56	いう形で示してございまして、それぞれですね、最終的に加速度を落とすということにどのような影響があるかというところでお示してるところでございます。
00:38:06	結果といたしましてですね、これをですね中を西東それぞれに分けて、今回はご提示しているということでございまして13ページからがありますのが中央一番の、
00:38:17	結果でございまして、この中ではその加速度応答スペクトルの差異分、
00:38:23	ほぼ、あまり見られないと言ったような、
00:38:28	それから右30、
00:38:31	からが東側地盤における非線形の影響
00:38:36	をチャラですね、

00:38:38	等、
00:38:43	うん。
00:38:44	AC 建屋、ひい建屋性格やプール住宅や、それから周辺 Z をにつつましては、これほぼ差がないということで記載してございまして、最後 2 行につつましては、
00:38:56	五味見ていただきますように、客観のちょっと差異が生じているというところで、門倉まして、若干の差異があるというところでまとめさせて、
00:39:06	いただいております。
00:39:08	右下 26 ページからの指示西垣場における影響をまとめているところございまして、25 ページで、施設周辺につつまして、まとめているところでございます。
00:39:21	吉良は
00:39:22	幸い、
00:39:24	結果をお出しして、
00:39:27	このようにですね影響がほとんどだんだんと手当が出ていない。それで議長。
00:39:36	若干の最後消費
00:39:39	になって、
00:39:41	まして、
00:39:42	この差分をですね見たところが、
00:39:46	建屋の固有周期における差分がかなり小さいといったところ
00:39:54	でやっていくのが妥当なんだろうなとこれをにらみながら我々今考えているところとちょっとすいません最後、我々こう考えてるかなというところまで申し上げましたけれども、
00:40:03	いうところ
00:40:12	から確認。
00:40:29	はい。
00:40:30	では規制庁。
00:40:33	12 ページお願いします。
00:40:38	中央地盤としてですね、やっぱり日本で一番上が細粒性、
00:40:45	ページ飛んで 19 ページ。
00:40:55	ただこれ、

00:40:57	確認だけなんだけど、
00:40:59	中央地盤、
00:41:01	東側地盤の左右差が、
00:41:05	これ医療違うけれども、同じG岩種の層ということで使ってて、同じ和泉さんとか、6ページの、はい。
00:41:13	を使ってるということでよかったですかという感じ。
00:41:18	はい。日本原燃の大橋です。おっしゃる通りで、
00:41:20	ましてこのひずみ依存特性を出す上では、中央西東というところでの差というのはつけてね、全部の敷地内のところでの、何ていうんすかねこのひずみ依存特性を設定しているという
00:41:31	のを各
00:41:48	それ。
00:41:49	今。
00:41:54	深見都築さんってところでも同じ考えなの。
00:41:59	部数わあます。
00:42:01	日本原燃の申請当初は、エリアごとに平均値を求めます。
00:42:09	泉動特性に関してだけは、エリアを、
00:42:13	共通です。はい。
00:42:15	おっしゃってる、その考え方って何。
00:42:17	はい。日本原燃の長谷でございます井本さんちょっと。
00:42:25	人々の特定核データとの関係まで含めて書いているところで、
00:42:31	こちらにあります通り、もし今岸野さんにご懸念されているようなところがあって例えば場所によって同じ細粒砂岩でも違う様相を示すようなものというのがあればなんですけれども、もしそうであれば6ページにあるようなこのひずみ依存特性、この浅海域の前に、
00:42:45	各データのバラバラですね、こういったところにつきましても本当ならばらついてきてもおかしくはないというところ、しかしながらやっぱり、
00:42:52	特性というのはある程度この岩種岩相によるこの物性の何ですかね特徴にやっぱ起因するものだと思いますので、その結果だとは思いますが、ほとんど実際のばらついていないというところになっております。
00:43:05	岩種という

00:43:06	ところの総曲線を引くと、
00:43:08	十分に敷地内全体で1本、
00:43:15	では、敷地内で保管しごとに整理するという
00:43:19	から当初、
00:43:25	ありませんか。
00:43:29	他に
00:43:30	これ
00:43:35	逆に、
00:43:46	神保石橋座間
00:43:51	ね。
00:43:51	大体同種のものになるという。
00:43:55	で、基本的に
00:44:05	大きな差もないで、岩種ごとに分けてあればですね、その辺は大体同等 のですね、特性が表現できるということで、
00:44:17	さして。
00:44:27	岩盤層、
00:44:44	しゃべると、
00:44:56	ここうについて、
00:45:02	許可、
00:45:05	閉いるもの。
00:45:07	説明の
00:45:12	そこ、そうですねその辺のところはですね大変一番0
00:45:19	我々が
00:45:30	最初に
00:45:33	あっせん。
00:45:42	むしろ、
00:45:43	機構のときにもそういった説明で、されてるんですか。大丈夫ですか。
00:45:50	実際に、
00:45:58	中央と東地盤で、
00:45:59	もうそういう遊佐断層で例えば、
00:46:03	東側地盤だったり、
00:46:06	ローランド、
00:46:09	デンソー一丸。

00:46:11	うん。
00:46:12	うん。ただ、地層の堆積状況とかを踏まえても、今の説明で、同じ連続性切れてるけれども、物性としては同じ連続性が
00:46:23	同じものとして、
00:46:25	もう何か、
00:46:26	説明を
00:46:29	この通り行ったかわかりませんが、そういった趣旨の説明をして、まず今、他の中で説明済みであるというふうに、
00:46:39	が、そこまで細かいところはですね、書いてはございません。ただ今、
00:46:46	例えばその深さが違うというふうなことがあったとしても、先ほど言いましたように抗生物質、あの子、実際にそのマトリックス自体ですね、ほぼ同様のもので、
00:47:00	同様の形で、
00:47:02	それは岩種ごとに、
00:47:04	的には、
00:47:06	同様であるというふうなことで、そのような規約の
00:47:26	規制庁が、
00:47:27	ございますでしょうか。よろしいですか規制庁は、
00:47:30	規制庁浜崎です。
00:47:32	資料の 25 ページですね先ほど野元さんの方から、G の需要については若干自然形成か我慢し非線形性の影響が見られますけれども 1 固有振動数のところで、
00:47:47	これからは離れて外れているからあまり影響ないような、そういった施主の説明があって、思い切りこれ振動するレベルがあります。
00:47:56	その前のページですねずっと見ると、
00:48:00	まさにドンピシャ固有周期のところに差が出てるんですけども、これについてはどう、どう解釈されてます文章中に Z は差はないっていうふうに書いてあるんですけども、
00:48:12	関西電力の方でございます。
00:48:15	そうですねこの全体ですねスペクトルの重なり度合いを見て、同様であるというふうに見ていいかなというような趣旨でここは書いてはあったんですけども、

00:48:27	そういう確かにその1個初期に着目した分析で、その絶対値でいくことになる、ちょっとそうですねおっしゃる通り今前柳生様の説明との間に、
00:48:38	少しちょっと破綻が生じてるというのは認識いたしましたすみませんちょっと考えさせてください。申し訳ありません。
00:48:48	はい。規制庁浜崎ですここら辺も農産のご専門の例えばこの一次振動数に相当するところで、機器の振動性もバッティングしててその検定比が厳しいような場合っていうのは、
00:49:03	計器欠決して無視できないっていうかですね断固のし
00:49:09	検討の段階で、影響あるなしっていうことは、なかなかちょっと難しい判断難しいかなと思ってますので、それでですね言いたいことは、
00:49:19	総じて東側ですね地盤の結果、これスペース私は下がってなかったんですけども収束剛性は結構東側、5の一番ってちょっと差が、
00:49:34	見られるという印象を持てますけれども、
00:49:37	何かそこら辺、東側がその差が出る理由等は、検討されてますでしょうか。
00:49:47	はい、お答えする。
00:49:51	合わせて
00:49:53	しては現在ちょっとすみません、考察としてはあまりちょっと、
00:49:56	あくまでその次14他んところよりも、他のところが0.8ぐらいに対して0.7台をたたき出しているという、そういったところに14のところはちょっと書いていたんですが、確かに今浜崎さんおっしゃいました通り、
00:50:09	西中央と比べて東がちょっと大きいというところの考察、こういう地質構造に基づく考察とかができると思いますのでそういったところはちょっとしていきたいと思います。おそらく初期剛性の相対的な差とかから、
00:50:20	いえるかと思いますがちょっとその辺は追記させていただきます。ただですね、参考でも書いて、参考で各グラフに書いている通り、1度前回の前甲斐感度分析みたいなところをお示ししておりましたところで、
00:50:34	. %ダウンというところの剛性低下を仮定して、今回我々前回評価をして、ほとんど影響がないというところを確認しているんですが、そこを大きく突破するようなところというのがほとんどないというところをそ

	ういったところは確認できておりますので、ちょっと我々その観点である意味、
00:50:49	. %超えるかどうか、もしくは他と比べてちょっと大きいかどうかというところの観点に考察をしていたところでしたので、ちょっと次回はこちらのペーパーにかかわらずですね西東とか西中央と比べて東がどうかあるとかそういった考察のほうをちょっと書き加えさせていただくように、
00:51:03	したいというふうに考えて、
00:51:09	はい、規制庁浜崎です。お願いします
00:51:12	この資料にもですね今までの資料もそうだったんですけども支持看板の非線形性の影響ってそんなに起こして、そんなに、
00:51:23	なんすかねしっかりと確認する項目ではないというのはある程度わかります。要はその影響項目を見て、もう少しやはりすし後精緻な意味で、検討といいますか考察をするとすると先ほど、
00:51:41	大賀さん言われたように、東と中央、或いは西との地盤特性の違いだとかを踏まえて、差がないとかあるとか、いう話をもう、この考察ばかり入れてもらえればと思っています。
00:51:54	そこら辺がやはりしっかり吟味されて、された上で、新京成に関しては今回、設計的にも考慮しなくても問題ないという結論に至ると思いますので、
00:52:04	その点、拡充の方をお願いしたいと思います。
00:52:09	以上です。はい。2、
00:52:29	むしろ、
00:52:30	県の方から、
00:52:32	関西電力の方でございます。次は岩盤、
00:52:35	に係る検討についての費用でございます。こちらは1度ヒアリングでご確認いただいた土肥データのデータ等の足らずについてご指摘いただいたと。
00:52:47	いうところを踏まえてもう一度出し直させていただいたもの
00:52:50	で、この資料の中ではですね、まず3ページのところから標準的、一般的なやり方として、どのようなことをするかというところで、
00:53:01	このですね、
00:53:04	金加地のデータですとか、次 1046011987 に示される複数の合わせて、

00:53:13	から、どのように選ぶかといったようなところの検討を元に、このセンサーとしてまとめているものがございます。で、具体的な
00:53:24	内容といたしましては、2ポツの右田4ページのところ2ポツのところ、一般的標準的な設定表の整理ということでまず2.1のところ、既認可時における設定の考え方と、
00:53:37	ということで長屋サイトでのですね取られたデータをもとに、懸念起点での適用ができると判断してこのように設定したといったような討議の記載の考え方というのを説明するとともに、
00:53:51	右下6ページの2.2のところでは、2046012015においては、その
00:53:59	投開票的にですね中出さんから5%値が用いられてるという記載を、これ確認したということに記載、それから2.3-1約46011987のところ
00:54:09	で、
00:54:09	その3軸圧縮試験は検層地震観測記録の厚さ表が示されており、それぞれの手法において、見れるデータみないデータというのが整理されてお
00:54:21	ってこれをもとに、
00:54:21	設計すると、ということが記載されているというところの内容を評価して
00:54:27	ございます。
00:54:27	237ページから減衰定数の評価書
00:54:31	ということで、この一木は、ギャグ46011987に示される3手法に従いま
00:54:43	して、検討していくということでその表の整理を、その次のページか
00:54:43	ら、
00:54:43	やっているところでございまして、全体的にですね30%圧縮しては、S
00:54:51	は検査による、
00:54:51	評価それから地震観測記録による評価ということでまた改めてまとめさ
00:55:04	せていただきまして、3.2の下水定数評価に用いる資本選定のところ
00:55:04	で、比木どれをどのように使うかということをまとめてございます。
00:55:04	内容といたしまして3軸圧縮試験というのがこれが材料減衰に相当する
00:55:18	ところをが見えるところになっておりまして散乱減衰が考慮されていな
00:55:18	いものとしてデータがとられると。
00:55:18	一旦特性があるということ。提出件数に関しては材料減衰と3ヶ月両方
00:55:29	が見れる。ただこのですねターゲットとなる卓越振動数が数いうから、
00:55:29	100数十ヘルツレベルであると。
00:55:29	いったような整理がされて、

00:55:31	というようなところ、それから、さて 1.3 の、地震観測記録につきましてはこれが
00:55:39	材料減衰とさらにその両方が見れるといったような形であってターゲットと卓越中央頻度数がすんなりそういう偏頭痛レベルと、よう整備がされているところの記載。
00:55:51	それからこのですね地震観測記録を用いたものを用いてこの敷地の下水を同定されたキセキというのが、
00:56:03	それなりに数があるといったようなところの事実関係をここ、整理させていただいた上で、
00:56:09	この我々の検討では地震観測記録による評価といいますのを、習熟において検討させていただくと、それに合わせましてさ係争による評価を、これをですねまた参照いたしましてこれが、
00:56:25	整合的であるかどうかということを検討するといったような検討の流れをご説明しているところでございます。
00:56:32	で、右下 13 ページからが地震観測記録を用いた下水定数の評価ということで、それぞれのですね観測地点の履歴とそれから観測。
00:56:43	観測域のデータをお示ししてそれから右下 17 ページから評価に用いる地震観測記録のデータですね整理の方法というのを示しているところでございます。
00:56:56	で、見た状況ページから、評価方法ということで、その初期モデルの設定及び探索範囲ということで、このデータを設定したところの観測位置のですね、それぞれの
00:57:12	探索半日
00:57:14	を示し
00:57:15	4.3. 2 では、本ですね、収束計算に用いる目的関数の設定についてご説明してるところでございます。
00:57:25	で、最終的には、根井江藤評価の方法及び条件を 25 ページから示しつつ、最終的に評価結果は、27 ページの表というところ
00:57:39	中央地盤関係につきまして、このですね層ごとに同定した減衰定数というのを示しているということでございます。
00:57:47	右下 29 ページからが、これがですね伝達関数をフィッティング結果につきまして、これをお示ししてるところでございます、

00:57:57	同定された減衰定数による冠水記録の再現結果につきましては 31 ページからの図で、欲しいするということでございます。
00:58:06	今回ですねこういう形
00:58:08	に対
00:58:08	をデータを示しておりますけれども、
00:58:12	当庫の大西と東につきましてはまだ今ちょっとデータ整理中でございますして次という形で今回はお示ししているところでございます。
00:58:21	右下 34 ページからですねこの中央地盤に対しまして再検討による評価結果でのこのこれまでお示した地震観測記録との整合についての検討と、
00:58:34	いうのをお示しております、この中ではですね、その SI 形状による検討結果としてその中央でありますと、34 ページのちょっと下の方に書いてございますけども、FP 工程約 4
00:58:47	%と。
00:58:48	な数字がえられておましてこれの会社も、
00:58:52	右下 37 ページ
00:58:53	のところから、記載をしてるところでございます。で、
00:58:59	具体的にはですね、この敷地におけるその S 波検層による評価結果といたしまして、周波数依存特性を有すると。
00:59:06	というのがこのグラフから示されるものなので、丁重になるほど減衰定数は大きな値となることを踏まえますと、このですね、4、4%、
00:59:16	値というのは、この地震観測力で獲られた数字と整合的であろうと言ったようなところの、
00:59:22	考察結果を述べているところでございます。
00:59:26	すいませんちょっと先走りしましたけども 37 ページのところではこの全体の
00:59:30	評価結果に対する考察といたしまして、今後ですね、今回られます地震観測記録の解釈について、我々の考えをまとめているところでございます。
00:59:45	全体にですねご覧いただきましたように、比較的ですね、
00:59:52	この中央地盤の生のデータといたしまして、先ほど 27 ページでご覧いただきましたようにそれで 0976.7%

01:00:02	以上取り置き数値がえられていて、これがえさ件数の計画を整合するものであったところといったようなところをまとめているところでございます。
01:00:13	で、39 べきからは事業許可変更に、事業変更許可申請におけるはぎとり地盤との関係性についてのご説明と、
01:00:23	いうところをまとめているところでございまして、えーとですね 41 ページから、
01:00:29	ではですねシミュレーション解析結果における観測記録の差に関する分析ということで、これ今ちょっとかけてございませぬ。先ほど申し上げました中央地盤のシミュレーション解析結果との比較におきまして、
01:00:43	合っているというよりは、シミュレーション解析結果の方がどちらかという大きいような、少しちょっと差があるような結果になってございませぬでこれがなぜかということの、
01:00:53	分析がちょっと必要であろうというところでここに記載させていただく予定をしているところでございませぬ。
01:01:01	最後 42 ページからですね 6.4、この非線形必然を考慮した減衰定数に係る考察ということで、このですね非線形性、このですね、地震観測記録が、
01:01:15	そういうガルレベルと、技師活動記録でられてるということ踏まえますと、この OSS ではいかがなものかといったところに関しまして、Ss 地震におきましては、もうざっくり言いますと、
01:01:27	非線形すいませぬ、設計条件におけるられた値よりも、大きくなる傾向になるであろうと。
01:01:38	みたいなところ
01:01:40	を、ここで記載さして、
01:01:43	ます。
01:01:44	本市がついてのご説明は以上でございませぬ。すいませぬ。何か補足、原燃側からあればお願いします。
01:01:52	はい。以上でございませぬ。
01:01:58	この資料につきまして、規制庁側から確認します。
01:02:02	規制庁神です。ちょっと一旦細かいところを聞きながら全体の話と、
01:02:10	29 ページ。
01:02:12	2、グラフがあつて、8%。

01:02:14	要請があって、これって何を言いたいのかなと、普通だったらこうきっちりした学校の仙波。
01:02:23	一致してればいいものなのか。
01:02:25	なんか、そうは言っても、大分違うんでこれ何なのかなと。
01:02:30	どういう。
01:02:31	もの。はい。日本原燃の加瀬でございませう実際は、実際はといいますか、これやってる解析としましては上出さんがご認識先ほどおっしゃってた通りで、黒線を目的関数として、赤の次、
01:02:45	地盤も地盤の物性値を動かしていったときに、黒に近づくように赤を計算するという計算をしていますなので理想を言えば、上出さんおっしゃる通り黒と赤が合ってるんでほぼほぼぴったりだねというところになるのが理想のところでございます。ただ、
01:02:58	これ
01:03:00	この資料の他のところにも書いておりますが、はぎとり地盤モデルの解析という許可のときに、地震動の分野でやっているところの話でもあるんでは、話の時もそうなんですけれども、あまりこっぺというのとはぴったり合うということはほとんどないものだというふうに認識してございます。
01:03:14	で、こちらで大体合わせるところでのいいところという意味では地盤の一次周期当たりのピークの山の建っている位置、あとはその建てる高さのところが大抵押さえられているというところがあった上で、最終的には、やっぱり実際にこういう波を入力してあげたときに、同等のものが出るよねというところ、応答スペクトル上、
01:03:32	というところで確認するというのが筋だというふうに考えてございます。ですのでそういう意味でいくとこちらの 29 ページのグラフというところは、出来栄としてはこれぐらいの返りにはなっています合わせようとしていますが大体こういうところの、
01:03:45	ものになってございませうと、最終的にはその地震は入力した結果というところの検証でもって 31 ページにあるような応答スペクトルのもので、ここで何か保守的とかいう話では全くなくて、あくまでそう過小に評価するようなものではないような、減衰定数ないし Vs 構造が取れているというところを確認したと、そういった

01:04:04	そういうような位置付けで、こちら 29 と 31 についてはつけているところで、
01:04:10	はい。きつい。
01:04:11	次に 31 ページを、
01:04:14	行こうと思ってたんですけど、31 ページでも本当は結構ですと。
01:04:20	一緒だったら、
01:04:23	感じで、それで先ほどの説明にあった 39 ページに、そういう何か説明を加えたいみたいな話。
01:04:33	お話ですか。31 ページの結果が、
01:04:37	もう、もうちょっと様子なきゃと思ってなくやりたいっていう。
01:04:43	はい、赤田宇野でございますおっしゃる通り衛藤今おっしゃってたあれですよ。網さん 41 ページの真ん中 39 億円ですね。このところにシミュレーション解析結果の公開に対しての我々の見解を追記したいというふうに思っていたものでございます。
01:04:58	規制庁深見です。まずは特に 29 ページなんかは、
01:05:04	これでいいのかっていうところは、パッと見てはわからないので、どうデータを見たのか、今も少しは書いてあるのかもしれ
01:05:13	ません。
01:05:16	いうところ。
01:05:21	いう話ができるようにはして、
01:05:25	というところで、
01:05:27	まずわからないところを聞いた上で、
01:05:31	目次を見れば、
01:05:32	前通しで言うと、2 ページ目ですけど、
01:05:36	前回私が話をした、減衰の決め方っていろいろありますよね、試験だっ
01:05:45	たり、
01:05:45	検層
01:05:47	観測記録っていうのは、
01:05:49	ある。
01:05:49	それは、
01:05:51	3 ポツで示されていて、
01:05:56	2 ポツの位置付けがよくわかるって、現在、

01:06:02	原燃としてはあれなんですか、減衰地盤の減衰を一般的標準的についていうと、
01:06:08	まず、既認可があり、
01:06:10	2015 が 1987 か、ありってことなん。
01:06:15	私は基本的には、一般的に言うと、ガイドでもエンドースし、1Q8 名がまず出てくんじゃないかなと。
01:06:35	を書いている。
01:06:36	して、その 2 ポツで何を書いているかっていう、
01:06:40	我々としてこの 2 ポツの文章のところの最初なんですが、4 ページ
01:06:46	のところでございます
01:06:48	ちょっと水面
01:07:01	がまずは
01:07:03	何かで何やってたかっていうのを示した上で、既認可が一般的か、標準的かはどうあれ、
01:07:12	今であると、標準的な手法である弱というところをちゃんと整理していきましようというちょっと論調にしました。なので、峰さんがおっしゃった 1987 が一般的標準的じゃないかというところではいきますと、2015 の方も、一般的に標準というか、
01:07:26	そういったところでも、我々としてはちょっと受けとめていると。
01:07:29	ただ 2015 ってご存知の通りあくまで
01:07:32	既設プラントなんで実績を、
01:07:39	応じての評価とかがなると
01:07:41	きちんとやらなきゃ。
01:07:43	ところが、
01:07:44	今回は 3 ポツで、この資料の中ではきちんと
01:07:52	はい。木曾。
01:07:54	やっぱその辺、
01:07:56	まだ曖昧か。
01:07:58	安定教授的に行くとどうですかって、一木赤沢を当然ハイライトして、2015 も入るんですよだと。
01:08:06	3 ポツで市橋の限定されている理由
01:08:10	2015

01:08:16	でそのいろいろありますよと言いつつもあまり結論もなく 19872 だけの話。
01:08:23	さらに根井 3.2 のところで、いろいろ方法ありますけど、地震観測記録はいいんです。
01:08:32	五つ。
01:08:34	今度 5 ポツに行くともた S 波検層が出てきたりして、
01:08:38	また何か歯切れが悪い
01:08:43	上流から
01:08:45	原燃としてはどういう考え方で、
01:08:50	きちっと
01:08:51	の
01:08:53	を、
01:08:53	あと、
01:08:54	場所は、何かいろんなところで思いが足りすぎて、
01:08:59	朝、後々になってこれも説明しなきゃっていうので、いろいろ項目が出て、
01:09:04	だからポポツできないです。
01:09:06	より、あと 6 ポツだとまた、
01:09:09	話が出てきてる。
01:09:14	懸念としてどう考えている。
01:09:17	いえ、その資料構成
01:09:27	はてるのでございます。承知いたしました確かにおっしゃっていただいてるうちにちょっとロジックが上手くちょっと取れてないのは、ちょっと構成
01:09:38	に起因するところがあるかなとも思っています、2 ポツで確かにおっしゃってるように、あるものをちょっと並べてるだけに見えるというのはおっしゃる通りで、ここは我々として一般的標準ですと、
01:09:52	両方に真夜中で考えるものを、まずは並べてみるかというので並べてみた上で、これを眺めてみたときに、最終的に 987 に行くわけですけども、既認可時点っていうの、緊急時ってのを見てみると、これが
01:10:08	長さで一般の、しかも他サイトのデータもとにこういうふうに設定されておったなというところがあったと。

01:10:17	いうところとそれから 2015 はこれ実際の実績の紙での記載がされてるといふところだとの手法としては改めて設定するのであれば 19872、
01:10:30	よってやるところになるんだらうというふうなところを、頭で考えつつちゃんと表現できていないというのが、ありますんでそういうところをちゃんと書くといふのとそれから 5 ポツの SI 検層ちょっとこれは内緒
01:10:51	この地震観測記録を軸としつつも、S 波検層が整合的である。
01:11:10	既認可の話も出してるのっていうこっちはもともと、
01:11:14	S II。
01:11:16	一応、
01:11:17	できる
01:11:22	の方でも出てくる
01:11:28	層序、
01:11:29	どこ
01:11:34	とは、
01:11:36	古作です。
01:11:37	今話がちょっとあったので、
01:11:41	ちょっと気になったところ
01:11:43	と、既認可の話が出てきてて、
01:11:48	これも前回のヒアリングなり、その前だったか
01:11:54	南米平均なんてこだわっちゃったんだっけっていうような話のときに、議員からなるべく変えないほうがいいと。
01:12:02	いう思想があったっていう話があったので、
01:12:06	その点では
01:12:08	キンカン を 1 回上げておいて、何、何でそうしたのかと。
01:12:13	いうところを振り返りつつ、今回の状況変化からすると、
01:12:18	どうした方がいいのかっていうことを改めて考えましょうと。
01:12:23	いう立ち位置に戻る上では、必要な情報だと思う。
01:12:27	出て、なので書いてきたんだなと思って読んでいたんですけど。
01:12:33	改めて今話を聞くと、各場所ここでよかったんだっけということがあり、
01:12:39	じゃあ何をどうしてんだっけってんだったら僕は書いてなかったり、
01:12:43	他の他の要因、予期するところですね、というようなことで、

01:12:48	大本立ち返るって何だったんだっけっていうのがやっぱりちょっとばらついてるのかなと。
01:12:55	いう気がするので、そこもちょっとその位置付けを整理をしてですね、しっかり押さえた上で、どういう分析をしていくのかと。
01:13:04	いうことは整理をして、最後の考察。
01:13:09	いうことをしていただいた。
01:13:13	られるのでございます。
01:13:14	承知いたしました。
01:13:19	規制庁。
01:13:21	うん。
01:13:22	11 ページとか、
01:13:24	今回、
01:13:27	瞬発力を使いますという話で、その理由としてサン・ライフの減衰も含めた評価ができるのはっていうすと、
01:13:37	言っているんですけど、一方でその頭で言っていたその一般的標準的な減衰っていうことですね。
01:13:46	おそらく関西電力の設計でも、観測記録をそのまま使ったりとはしてないんですが、そういう意味で、
01:13:55	本当に一般的。
01:13:59	いえるのか、やっぱりその、他のサイトの設計の時に考えていることは、それ以上のことをやっているんです。
01:14:09	その辺って今、どう考え。
01:14:13	重ねるのでございます。その一般的標準的というのが、実績のある、
01:14:21	麻生。
01:14:22	糸賀取っていると。
01:14:24	いう考え方た。
01:14:26	とするならば、その1月なんかは、
01:14:31	ある意味そういう実績を集約した感じで2013数字も書いてあるわけなので、そういう意味ではそういうのを書かれてる中の数値を使うというのが多数決に、
01:14:42	な、そういうのは設定の仕方になると。
01:14:45	いうことにはなるんですけども、

01:14:48	今標準的一般的って言っていることで我々やらなきゃいけないのは、その隔壁適宜過ぎな観点、その六ヶ所サイトで、
01:15:00	その減衰を10人10名に8人が認めていただけるようなやり方でデータを同定するというところから出発しますということを、ある意味宣言して始めているんだと思って、
01:15:15	出るんです。そうしますとやっぱり手法の同定の仕方を書いてある。1987から出発して検討すると。
01:15:26	言ったようなことになるんだろうなと。そうするとその時にちょっとよそさんがどうやってたかというのを、実績をやっていくと、それぞれのですね目の審査の時の事情でいろいろ決めてるところがありますのでちょっとそこも
01:15:39	ちょっと、もうマトリックスが複雑になりすぎると、
01:15:43	ちょっと心配
01:15:44	ここはやらせていただけたらな。
01:15:46	こういうふうな
01:15:48	悩みながら、しているというところでございます。
01:15:56	よそはどうだっということ資料上に表す必要はないとは思いますが、周りも我々も頭には、
01:16:04	何で時、
01:16:08	はいどうぞ。もうちょっとシンプルでいい。はい。さあ、終わるようにあとそうですねはい整理してもらったら、設計別に前と同じであればいいかっていうとそれが別に言われたように、
01:16:20	どこそこで3使ってるとかどこそこでこう使ってるから、それが標準一般的っていうのを暴論なんで、そういう意識で我々も聞いてませんから。うん。
01:16:31	もう少しこうシンプルに、
01:16:34	他との違いとかっていうところを探って説明できるように、
01:16:38	してもらえたらいいんじゃない。
01:16:41	はい。
01:16:42	笠田久野でございます。
01:17:04	はい。規制庁濱崎です。
01:17:07	今もうカミテとのやりとりの中であったんですけども今の野本さんのご説明です。

01:17:14	一般的標準的やり方もあるんですが、今回は科学的、技術的根拠を尊重してそれに基づき設定しますという、
01:17:26	ように聞こえました。そう理解しました。で、
01:17:29	先ほど古作調査官もあったんですけども、例えば金委員から、
01:17:34	は、いわゆる材料減衰だけで評価してると思うんですけども、だからそれも今回は覆すと。
01:17:42	いうこと。
01:17:44	ですかねそれと、あと例えば、今回の設工認の中で、例えば、地盤で遊んじゃいな許可の段階で、地盤安定の評価のところの減衰評価、
01:17:57	これについても材料減衰は基本、採用してると思うんですけども、それと、もう総合を生じることになるんですけども、
01:18:05	そこら辺の全体的に減衰の評価として、の位置付けといいます考え方。
01:18:12	ていうのは、原燃としてはどう考えてるんでしょうか。はい。日本原燃の加瀬でございます。既認可の話の方からまずさせていただきますと、金融機関の話は通しの4ページ5ページの方に書いてございますが、
01:18:25	いろんな知見っていうところを見た上で確認しているというところがございます。その時には、こちら5ページでこれは嶋他1983という知見をどうやるかを過去参照していたようでございましたけれども、
01:18:37	このときには決して3軸試験による減衰定数だけではなくて、S波検層後観測地震による減衰定数というところも、横目に見ているつまり散乱減衰なんかも入った上で、
01:18:48	見ているその上で設計上の最終的な数字としては2ペース案の時2%というところをやっておりましたので、材料減衰のみに決めているものではないと、むしろ従前につきましてもそういった散乱減衰も含まれるような、
01:19:00	要因に基づく減衰定数というのを定めていたというところがございますので、今我々の方で観測記録なんかでやっていることは整合的なところかなと考えているところがございます。
01:19:11	規制庁。
01:19:13	そう言っちゃうと、
01:19:14	同じでって言うっておきながら、なぜ片や2%で片山。
01:19:20	正反対じゃない
01:19:22	考え方一緒だと。

01:19:23	やってること。
01:19:31	日本原燃抜けてございます。ちょっと説明の仕方がおかしかったと。まず一つはですね設計に用いるときにはですね、もう少しこれ今野生中でですね。
01:19:42	どう使うかってのは次の段ステップではあるんだと思う。
01:19:46	現在ですね基盤地盤とって as-is に近い、要は六ヶ所の本当に本当に今どんなやつが来るんだと、いったところを求める一般的な科学的なというところでいくと、
01:19:58	生値というのも一つの手法でもあるし、尺もありますのでこの上限を取るという方法もある、あるでしょうし、実際またそれを設計に使うとなった段階ではですねまた、
01:20:09	本当の生値を使うのか、上下を使っていいのかといったところがありますので、少しここ設計に使うといったところと、as-is の基盤地盤といったところの考え方、ここでちゃんと整理しないと、
01:20:22	まさに来金貨とか許可とか、整合が AI にくいと思いますが、我々、今、設計に使うのを出そうとしてるのではないといったところを少し明確にする必要があるのかなと。
01:20:35	はい。規制庁小阪です。まずはその整理は大事なところなので、していただいて一方で、前回の話したように、
01:20:46	次の会合のときに、設計としてどうしていくのかっていう方針を示していただかないと、次につなげられませんかよということがあって、
01:20:57	まず今の整理をした上ですね。
01:21:00	ていうのを何だか言われるんだと思ってたんですけど。
01:21:05	そこはどうされるつもりなんです。
01:21:08	今我々、考えてますのは、このちょっと介護資料案で少しお話もしておりますけれども、その設計を、
01:21:19	責任も黄色、モデルを決めるまでの道すぎてよ、そのところは、押し上げた申し上げるつもりをしております。
01:21:29	ただ
01:21:31	だから、具体的に減衰をですね、どう考える、関戸考えるのかというところまではちょっとたどり着かないんだと私は思っております、何%という数字のところ、

01:21:42	と比較してあそこで書くのは比較して使えるのは使えるんで、使えないところは、この
01:21:50	基準空き家基本か基本地盤をベースとして、設定し直すと書いてますので、
01:21:57	どういうふうにかこうとしてるだろうとしてますので、この基準通り使うってことは、我々考えておりません。生値通り使うってのは考えていないというのが、次、実態のところでございます。
01:22:11	古作です。
01:22:14	山路通りに使うつもりはないと言いつつどうじゃあどう使うんだということが、
01:22:20	あるんですね。
01:22:22	そこそこが辺りを、
01:22:25	目なんですか。水田部長本っていうわけじゃなくてもいいですし、最終的には
01:22:34	ちょっと、今後の比較を踏まえて、どうしていくのかっていうのも整理の中で、確定をしていくと、いうことでも構わないんですけど。
01:22:44	そういった旨を明確にしないと、先ほどの既認可でバーにしちゃって、2%3%といったようなところとの関係っていうのが、
01:22:54	位置付けがよくわからない。どこで何を整理をして運転する。
01:23:04	して、ページ、
01:23:07	下線部の方でございます。はい。承知いたしました多分理解できたと思うんですけども、えっとですね今おっしゃってるように比較の中で特定していくのもまさにその通りだと思いますんでおおきに下での2%3%というのは、
01:23:21	実際設計に用いるために、その設計と、
01:23:28	扱いを検討し、
01:23:30	今比べるべき相手ではないという認識をいたしております。ですので今後その比較の中で、
01:23:38	間違いなく見ていかななくてはいけないと。
01:23:42	ちゃんと表現できるような、
01:23:44	これ、
01:23:46	以上でございます。
01:23:49	保坂。

01:23:56	はい。来て茶畑ありがとうございます今起こす先ほど百瀬さんが説明されたことを、を通してですね、今調査官見られたようなことをですね言うと思っています。
01:24:09	そして今、
01:24:11	今ちょっとまとめますとですね私の意見をまとめますと、42ページ今日の資料の42ページのところに、これ弱の記載が、下から、
01:24:22	府の方の式ありますよね。逆の記載があって、要は減衰としては地盤減衰、地震観測が一番大きくなりますよと。
01:24:30	左に行くにつれて材料減衰が一番小さくなりますよってというのはこれはもう世の中よく知られたな話で、今回提示された。
01:24:40	提示ってかな、今回説明あったのは、一番右側の、
01:24:43	地震観測のHを示しましたということであって、今後設計で用いる減衰としては、どうするかというのは今後事業者の方が判断すると。
01:24:53	いうように理解しましたさっき尾方さんの話も、建設時に嶋先生等の論文を基に地震観測も含めて、考慮して、最終的に2%3%決めてますって言ってます。
01:25:08	同じプロセスを、
01:25:10	踏んでるわけですよ地震観測の結果を踏まえて最終的には、下、室内試験の材料減衰である2%3%を設計として採用してますと。
01:25:22	いうプロセスを踏んでるわけだと、いうことなんで、今後今回の申請で、設計ではどういう減衰を設定するかと、その具体についてはステップの2の、
01:25:34	宮城さんの方に移行してからと思いますけども、そういう、今後の設計地震、減衰の設定の考え方を、方法を考えてますと。
01:25:45	いう説明が、
01:25:47	必要かなと思いました。あと、原燃との間で、私の理解というのは、
01:25:54	勝ち産するんでしょうか。はい。関西電力の長でございます。はい。全く同じ考えを持っております。ありがとうございます。
01:26:03	はい。規制庁浜崎です。ちょっとこの資料ですと、今井の趣旨、このポイント、重要なところだと思いますので、記載の拡充の方をお願いしたいと思います。よろしいですか。
01:26:14	関西電力の郷でございます。承知いたしました。
01:26:18	はい。規制庁浜崎です。私からは以上です。

01:26:21	規制庁深見です今のところ、
01:26:24	介護資料でもちょっとわかるようにして欲しくて、決得さん言われましたけどその設計にそのまま使うわけじゃないようがないか。
01:26:33	のもので出されたと。
01:26:36	いいも悪いもなくなっちゃうんですよね。なんで、会合で議論のしようがないんですよ。こういうものだから、速記録でいいんじゃないかと。うん。いやそういうものだったら観測記録っちゃうのはさすがにやり過ぎなんじゃないな、こういうやり方の方があるべきなんじゃないのっていう、
01:26:52	議論をするはずなのに、
01:26:54	何を使うかっていうのがあやふや、また今度考えますっていう話だと。
01:27:01	位置付けをしっかりと。
01:27:07	関西電力の方でございます承知いたしました。
01:27:16	ちょっと四宮さん。
01:27:18	1点確認させてください。今のやりとりを踏まえると、
01:27:23	大分位置付けは後退した可能性が
01:27:25	4ページ。
01:27:28	民間の考え方の説明の趣旨を、
01:27:32	うん。
01:27:34	1パラグラフ目では、いかに
01:27:37	いかん。
01:27:38	方で設定していると。
01:27:41	岩手地点ということですね。
01:27:44	一番最後の、
01:27:46	以上を踏まえ、
01:27:48	踏まえ、
01:27:50	2が妥当としている。
01:27:53	という、
01:27:54	説明がですね。
01:27:55	要は2%でどこまで
01:27:58	力を見ると、
01:28:00	この岩木富岡グルーピングから3%に設定してるんだけど、
01:28:04	最後のパラグラフと、

01:28:06	何か別の根拠ですから3%。
01:28:09	そしてその妥当性を、
01:28:11	丹羽堤中出。
01:28:12	検証したというふうに読める。
01:28:15	これどころ。
01:28:17	まず、何、どちらがスタート地点、
01:28:19	はい、日本原燃のガス、
01:28:21	自治体のところを述べさせていただくと既認可時点での、原燃としての考えとしては2%3%というのはどうやら既設プラントの実績ですとかそのときの審査の状況で、まず決めていると。
01:28:32	実態でありましたんでその時に、こういった科学的な完璧な論理関係のところ、それが果たして敷地でも使えるかというような観点で確認を行って妥当であるというふうに行っているんですそれでもって、すいません1行目のところでは、そういった設定の考え方、根拠になっているという意味での設計しているというふうに書かせていただいたんですが、
01:28:50	ちょっと確かに日本語の繋がりはおかしいなというところ。ただデータ出どころにつきましては、当時としましてはある意味その時は外、
01:28:57	先行実績とかそういったところにのっとって、
01:29:03	この説明が生きて、
01:29:06	も、0松田と明確にした上で、その妥当性を、
01:29:11	検証、
01:29:14	思います。その上でのですね、
01:29:19	何とか富岡六ヶ所からうんと離れて、どうするっていうのは何
01:29:24	今日、
01:29:26	先ほど何か、
01:29:28	うん。
01:29:29	何的な発言のために半数になると思いながら、
01:29:34	そのあたり、当時どういうふうに考えたかっていうあたりを確認でき、
01:29:39	日本原燃の小笠です。正直なところを申しますと、当時どういう考えでここを取ったかというところは収益ないと。
01:29:45	ただ、こちらの岩木地点とかあと富岡地点というところでございますとこれ実際はジャンクでも入っている知見なんでございますが、この嶋ほかのものが、

01:29:55	何ていうんすかねリファアされた上で弱でこの3手法、いわゆる後程述べるS検層観測記録、
01:30:01	とかの記録、そういった手法があるよというふうに紹介されているものでございまして原子力として、取り入れる上では一番メジャーな知見というところになってございますのでまずそれが一番使えるだろうという話で、
01:30:13	当時判断したものと思われま。さらに、これはもう、当時の資料から読み解くだけの話なんです、果たして外のものを外挿で持ってくるだけじゃいいのかというところの観点で、二つ目の仲村他というところのもので、これってというのはVsと減衰定数の関係式みたいなところが出ている。
01:30:30	ございますので、そのVSを当社敷地のものに当てはめたら大体オーダーになるというところの確認をしているという意味で、敷地の特徴なんかも踏まえた検討に最後はなっているというのが、人勧のどうやらロジックであったりという人、
01:30:42	私の方で呼んでいると。
01:30:51	あと先ほどの
01:30:53	いろんなこと、
01:30:56	PS検層、
01:31:00	これ以外にもそういったものを本当に踏まえて、
01:31:03	設定したというようなことが、
01:31:07	説明を加えて、要は0側に関して、
01:31:11	その検証として、ここにある人だけじゃなくて早速だったとか、そういったものを聞いてということが出来るわけ。
01:31:20	入って欲しいな。
01:31:22	思います。
01:31:24	先ほどのやりとりでこの辺りの説明がですね、ちょっと位置付けとして後退するんであれば、
01:31:29	わかった過去の
01:31:35	設定を調べて、測っ
01:31:39	て、やはり古い、わからなかったのもあるかもしれない。そのあたりを明確に書き分けていただきたい。ご説明をいただくよう、
01:31:48	ご検討いただければ。

01:31:51	はい。関西電力の郷でございます。はい。ちゃんと書き分けないといけないというところ、承知いたしました。今ちょっと緒方からの説明にもあったように、
01:32:02	金貨時点での設定っていうのは、ある意味、こういうもんであったというご紹介であって、その時に、何か特別な、
01:32:13	他の手法を使ってたわけじゃないというのがわかったというところなんだとは思いますが。
01:32:19	ですので、
01:32:20	使いどころとしては、これ JEAG に記載されてある手法を否定するような、ほとんど議論やってたわけじゃないと。
01:32:30	多様なことをちょっとこれから読み取れた。
01:32:34	データなのかなと。
01:32:36	いうふうには思ってますので、ちょっと比木認可がこうでこういうふう に設定したから、だからこれが標準的な手法だというふうに我々もちょっと説明するつもりも、
01:32:48	あまりないのでちょっとそこがわかるような記載になるのかなと、今私個人的に思いましたけどお母さんの方。
01:32:54	はい。日本原燃大町です先ほど来、榎長さんもおっしゃってたこの位置 付けが後退というふうなところの話でありましたけれども、おっしゃる通り、我々としましては今、一般的な手法として1番手であげられる1 泊の1987
01:33:09	の方法で、我々としては今回科学的な根拠に基づいてやっていくという ところにしてますが、その前提として金融機関のときに余りに外れたこと ないし、我々が正直今掴んでないデータなんかを使ってやってたんじゃない かっていうところに立ち返ったときに、そういうデータはなかった ですねっていうところが、
01:33:25	本来言いたかったところでもございましたので、そういった位置付けに、 交代というのはちょっと位置付けをきちんと明確にする、1987 を使って 我々がやることの位置付けを明確にするというところで、
01:33:35	書き換えはして参りますので、それに沿った形での今の岸野さんのご指 摘踏まえての修正のほうはしたいと。
01:33:41	そういう意味ではどの位置付けでどこのところで数字を決めたのかとか そういったところの話は、きちんと書いた上で、ですね。

01:34:06	規制と、
01:34:09	いただきたいんですけどもけども、今回この地震観測から、減衰定数を算定する方法としてそのうち、
01:34:17	減衰定数の水気変数にして、目的関数ですので、誰がフィッティングするように、解析
01:34:27	して、示していただくということなんですけれど。
01:34:31	観測記録から減衰定数を設定する方法としてその GA によるシミュレーション解析っていうのは適切なんでしょうか。はい。日本原燃の間瀬でございます。適切かどうかという意味では適切であろうと思っておりますが、ある意味その根拠としましては、
01:34:46	分子資料の中でも書いてございます地震動を作る時のはざと地盤モデル、作る時でございますがその時にも同じように減衰定数と、あと Vs もなんですけれども、
01:34:57	変数にした上で、GA ないし、もしくはピッティング手法で自由に限らずいろんな収束計算の方法があると思うんですが、それらの段階を近づけていく、収束させていくというような方法で、特定の数字を
01:35:09	同定していくという観点では同じ手法っていう意味では、自衛によるところにつきましても十分に妥当であるというふうに考えて、
01:35:15	あと実績もある所であると
01:35:27	データ、
01:35:51	出てきた
01:35:52	が、ある程度妥当なものであるかどうかという判断
01:36:00	仮想的に、
01:36:05	されているということだったんですけど、
01:36:08	まわして収束ある程度しているのかどうかという判断が必要だとは思いますが、今回 35 台で 30 倍という制限なんですけど、あわせては妥当なんでしょうか。
01:36:18	はい。日本原燃の長谷でございます。一応こちらの中身も、
01:36:21	しておりまして、30 世代 35 体でどちらかというと世代ですね、世代の方で、着目した時に 30 銭
01:36:30	まず瀬田伊井の後で、もうすぐに、
01:36:34	動い
01:36:38	収束。

01:36:49	私が
01:36:51	お話しした内容と申しましてはまず
01:36:53	藤江草間が出てくるのかどうか。
01:36:55	あと、
01:36:57	次へ乗せて、
01:37:22	方は、
01:37:33	衛藤。
01:37:34	保管、
01:37:36	この資料につきまして、確認はございます。
01:37:41	よろしい
01:37:43	それでは次の資料、
01:37:48	はい、関西臀部の方でございます。
01:37:51	資料ですけれども、表層地盤の物性気に係る検討についてでございます。こちらも1度ヒアリングでご確認いただいた後にとキーに、今のご指摘いただいた事項も踏まえてこれご提出を
01:38:05	し直させて、
01:38:07	いただいたものでございます。前回からのですねこれ修正点といえますか、変更点といたしましては、今回ですね流動化処理動の施工管理情報これが前回の資料では、
01:38:22	対日となつてございましたのでそこを今回追加させていただいたものでございます。
01:38:27	で、ご覧いただきましたらわかりますようにですね前回コメントいただきました梅本市のですね施行年代のに分けました文書整理ですとか、
01:38:39	そういうところをですねちょっと追記という形になっておりまして、右田の6ページ7ページのところですねここに年代別施工プロセスの比較ですとか、埋戻量の均質性についてこれの速度構造年代ごとに過去と
01:38:54	のちょっとデータでちょっとお示しするつもりであるというこう宣言だけで、ちょっとさせていただきますけれどもそういう形にしていただきます。
01:39:03	あとですね基本地盤モデルの設定のためにこれ今やってるところではあるんですけども、会合のですねコメントでいただいております埋め込みの考慮設計でどう考えていくのかと。

01:39:18	いったようなことに対するお答えの1通も、このですねまとめのところで、ちょっと言及させていただいております、基本地盤モデルの設定の段階にあたっては、
01:39:31	埋め込みというのはこれ考慮するという考えでやっていきますという我々が素直にやるとこういうふうに考えますと、いうところをご提供させていただいて、その他、その上ですね今後
01:39:46	予算を考察して、
01:39:47	画面でございます
01:39:49	その時にですねこの従前ですね、深層申請、地盤モデル等ですね、考え方の違い、で我々結局どうするのかといったようなところをまずちょっとご回答していくと。
01:40:02	いうことになるかなというふうに思っております、ちょっとそこまでお答えしないと多分審査会合のご質問のお答えにはならないだろうと思うんですけども、一応この中ではその最後までお答えにはちょっとなっていないと。
01:40:13	いうところをちょっと今申し上げた
01:40:15	ところでございます。
01:40:17	あとですねちょっと一つ補足といいますか今後ちょっとここを充実して参りたいと思っているところを一つちょっと申し上げておきますと一番最初ですね、
01:40:27	3ページの初めのところへの、
01:40:30	記載でですね、今回一般的標準的なやり方を検討して、設定していくということに記載はしておるんですけどもちょっと
01:40:41	3ページですね出た改めて私もちょっと読み返してみると少し論理的に、またちょっと飛んでいて、書き足りていないなというふうなところがございまして、
01:40:53	ですね具体的にはその一般的標準的なやり方として、そのボーリング試験によりライダーデータに基づき設定することが一般的な考え方だと。
01:41:05	言いつつもですね、その次に、この一般的、このですね様な管理に基づいてやられる時には5を全部代表値やるのが一般的な考え方だと。
01:41:18	論理ちょっと飛んでおりますので、
01:41:20	はいどうぞ。
01:41:22	少し埋めるような形ですね

01:41:25	Pを、
01:41:26	ちょっと補足する必要があるかと思ってますちょっとそこを今後
01:41:31	ちょっと最後にちょっと岩木君。
01:41:36	以上でございます。
01:41:57	直接、
01:41:59	先ほどのご説明ですね、今後の話。
01:42:04	についてちょっと補足がありまして、25 ページ。
01:42:14	今回はその基本基盤モデルの設定にあたってとかっていう説明であつて、
01:42:23	4月の会合でも、地震等解析モデルの考え方は、
01:42:28	そうなんですかっていうのは、今回ではなくて次のステップ、
01:42:33	この辺りで、その考え方を説明しますと、そういう考えだよ。
01:42:38	我々基本地盤モデルとして、一般的標準的にやり方っていうのは、もうこの埋め込みを考慮する考え方になるであろうというところがまず1%。
01:42:55	今回それを
01:42:57	これは
01:42:58	申請モデルとの比較といったときにはこれ違うものが出てくる
01:43:02	その考え方はどうなのかという分析を、我々からまた
01:43:12	申請の地震応答解析モデルと、埋め込まれてるけど表層を考慮してないもんであって、
01:43:21	なんだ。
01:43:22	これは基本地盤モデルと、
01:43:24	はい。
01:43:26	これは、
01:43:33	関西電力
01:43:35	おっしゃる通り
01:43:36	認識をしております、
01:43:40	こいつ、
01:43:54	これの一番モデルで考慮するのかもしれないのかは、命名のました。
01:44:01	他ピアを見ながら、
01:44:03	それを設計で何を使うべきなのかというのを、次には、
01:44:12	中で、

01:44:21	施設の、
01:44:27	ありますけれども、
01:44:34	ちょっとまだ整理しきれてないという
01:44:40	はい。関西電力の方でございます我々の中でも今ちょっと言葉をちゃんと統一した形で今お伝えできない状態だと。
01:44:50	考え方。
01:44:56	いつ言おうか悩ん
01:44:58	先ほどの岩盤の減衰の、
01:45:02	解析のとき、
01:45:04	あの間記録ですね。
01:45:07	競争の部分もモデル化して計算をされているようで、はい。
01:45:13	そうすると、その設定
01:45:15	この表層の議論とはどう繋がるのだろう
01:45:20	かがちょっと疑問で。
01:45:22	かつ、
01:45:23	減衰で見込んだと設計
01:45:28	いう
01:45:29	関係はどうなるんだ。
01:45:31	いうのも、減衰の方にもちょっと気になっちゃう。
01:45:41	に辿って行って申し訳ない。
01:45:44	表層部分の最終的な設計における減衰定数の設定につきましては、今後のステップ2の任意とかになると思うんですけれども、今回の感度分析の対象にしなかった理由がそもそも感度分析しか認知文化の
01:45:57	対象にしなかった理由がそもそもの S_s がおっきい間となつてはその非線形性ってのは絶対に無視できないだろうというところがございますので、そのひずみ依存特性を、例えばサンパー律とかでやるのではなくてひずみ依存特性を見る形でもう最初から設計に考慮しますという位置付けがありますので、
01:46:13	今回この、
01:46:15	減衰定数に係る評価の中では、あまりそこまでは
01:46:19	何ですかね細かくは見なかったあくまでこのはぎとり地盤モデルと同じ形で出してあげて、それで岩盤の結果を取り出したというところになってございます。ですので、この評価と、最終的に表層で設計で、

01:46:30	つかがたいというところは切り離れた形でちゃんとロジックとして話をさせていただくと、考えていくというものでございます。
01:46:37	わかりにくくて、
01:46:40	はい。
01:46:41	規制庁、
01:46:43	な、すいません。本当に切り離せるのがいまいちよくわからないんですけど、
01:46:48	そのあたり、
01:46:51	今は書いています。日本原燃大町です。今はおっしゃる通り書いていないです。そういう意味で、こちらの岩盤の減衰定数に係る検討についてで、表層地盤も今先ほど申し上げたような仮定条件でちょっと分析をしているところなんです、それをきちんとその前提条件ですね。
01:47:06	最終的に設計でどうやるかというよりはちゃんとひずみを見無視せずにやることになるかなとかいろいろちょっと書きぶりとか、あとは今回の観測記録を用いた検討が、あくまで弾性領域ぐらいのちっちゃい地震であることとかそういった理由でもってきちんとその位置付けを変えた上で、
01:47:20	その表層のところの、何ですかね、流れの方というかパスを作ってあげるといふうなのがこの岩盤減衰の資料の中でちょっと位置付けを変えてあげる必要があるなと思いました。ちょっとすいません
01:47:31	北井はまだ、
01:47:37	でも、あれ、どちらでもいいんです。
01:47:40	で、
01:47:41	はい。
01:47:46	けど、結局は前々からお話した通り、競争の扱いが事実関係を確認した上で、設計でどう扱うかというところと、
01:47:59	結局相互関係があるというか
01:48:03	それぞれ分析するときに、最終的に設計で扱うときにどう。
01:48:10	すべきかっていうことに、
01:48:12	のために必要な情報であって、そうすると、設計の時に、扱い方によってやっぱりその、
01:48:19	どうすべきかが変わってくるんですよ。
01:48:21	考慮しないってするために、じゃあその部分をどこに寄せるかと。

01:48:26	ということで考えると言ったところでの数字の考えですが、検討に入れなきゃいけないし、
01:48:33	一方で、
01:48:35	単品でそこを考慮するといった場合には、他で保守的に入れた部分は、
01:48:41	外すのかっていうような議論になったりするし、
01:48:44	結局はトータルで、その物理現象をどこにどう当てはめて改善評価するか。
01:48:53	いうトータル論なんで、
01:48:58	どちらかでもちゃんと繋がるようにしてまとめていただいて、疑問点が残らない。
01:49:05	はい。
01:49:07	その点で言うとその減衰。
01:49:09	を入れてるんであれば、実際に
01:49:13	場をちゃんと評価する、そうしたけれども、その後、解析に使うにはどうするかという関係ではどう、その部分を取り扱うとか、
01:49:25	現時点でどこまでの形で表現すると、
01:49:30	まとめておいていただいて、最後に、
01:49:38	はい、日本原燃の加瀬です今、古作さんおっしゃった観点はちょっとすいません、完全にこの資料の中では抜けていますので、この資料に限らずですけどちょっと、
01:49:47	ちゃんと繋がりがわかるようにしたいと思います。ちなみにご参考になんですが、減衰の方の地震観測を用いた検討にあたりましては、地震計の位置のPS検層に基づいてやっているというところでございましてそこで実は梅本指導というものがなくて、
01:50:03	六ヶ所層とか森野とかっていう第1回のピーエイで使った、
01:50:07	土岐と同じ地盤なんですけど、それと同じような監視が入っているところでございますので頑張る今の平均でやって傾斜つけるのがいいという話とは完全に切れるか。
01:50:16	その辺の関係性も踏まえて、
01:50:18	あとパス。
01:50:21	あと、保坂です。岩盤、
01:50:24	どうも設定に影響を与えないということを、
01:50:30	表層、

01:50:32	うん。
01:50:34	うんそう出たとして、
01:50:38	でも利益を与えないんだったら
01:50:41	入れなくてもいいとか、
01:50:44	今の減衰の検討の中でということでしょうか。そういう意味では今回、岩盤の中でのひずみ、減衰定数をきちんと見る上ではやはり表層からの反射とかもちゃんと考えるべきだと思いましたが、取れてる記録ってのはその地盤別の表層があつての話はないので、そこはきちんと入れるべきだろうと判断したそういうのをちゃんと書いた上で、
01:51:03	やるんだろうな。
01:51:06	ちゃんとだから岩盤のを出す上で適切なやり方ですし、それは他の検討との繋がりはこうですっていう、
01:51:12	はい。
01:51:14	補足ですが、
01:51:16	入れる趣旨とかっていうのはわかります。
01:51:21	だから、す。それがこの解析ではどういう影響が出ていて、影響度のどの程度のものがあるなしなのかわかりません。
01:51:30	その上で、最終的に解析、
01:51:36	耐震評価としての取り扱いとしては、その結果としてどうするのがいいかと、いうことがわかるようにしていただくと、表層が出たんですか。
01:51:45	いうこと等にも繋がって、
01:51:49	関係性がわかるような、
01:51:55	はい。日本原燃の間瀬です趣旨は、かしこまりましたちょっと書きぶりはちょっといろいろ考えなきゃいけないとすいません内部悩みだからですけれどもは趣旨は理解いたしました。
01:52:07	完全濃度を
01:52:09	とは話。
01:52:11	今私ついて来なかったんです。
01:52:18	このまま技術、
01:52:20	しないといけないということで、
01:52:23	その扱いは、
01:52:37	麻生。
01:52:49	よくやっている。

01:52:50	影響を見て、
01:52:59	はい。
01:53:17	あの、今やろう、今こっちで周知し、
01:53:20	言った話で、表層の減衰の設定、
01:53:27	まず設計上の設定は、岩盤と表層を別々に設定はそれが従前のやり方で、表3についてはあまり議論の余地がないといいますか我々がやってきたことが特に疑義はないと思ってるんで今までもそのまま
01:53:42	表層の減衰っていうのは、ひずみ座で設定するっていうのは、もうそのまま、はい。戸塚宇田という認識をやってるのでその考え方をちゃんと書かなきゃいけないというのは、理解で。
01:53:53	さっき小阪さんがおっしゃってた、その影響を見て差異がないっておっしゃっていたのが私今ついていけなくてここでしゃべってて、
01:54:03	ちょっと今
01:54:05	ごめんなさい。ごめんなさい。はい。
01:54:09	岩盤の減衰の評価をするときに、はい。そうそうそうそう言うやつ。はい。
01:54:17	片や、
01:54:18	表層の議論のときに、表層を入れてる入れてないがありますよねと言ってみたり、
01:54:27	で見たりと、
01:54:28	うん。片や、設計なり、今回の
01:54:32	物性の検討というところで検討を横でしていると。
01:54:36	そうすると、この岩盤の減衰という評価のときに、そちらの結果を入れるとの関係で、
01:54:45	不確かさがあるにもかかわらずそのままやっているというのは、
01:54:51	いいのかどうか。
01:54:54	単純に言うと、
01:54:55	観測記録での分析のときの入力条件の妥当性っていうのは、
01:55:02	そういうところの関係性をちゃんと整理。
01:55:06	て条件ですか。
01:55:08	でさ、そういうものを整理しておかないと最終的に使うときに、
01:55:14	そごが出たまんまの数字を使っちゃうということになってはいけないで、

01:55:20	そういう点で関係性をちゃんと整理してください。はい。
01:55:24	で、
01:55:26	その時の、
01:55:27	解析と、最終的に設計で使うといったときのモデル化の考えがずれが生じたら、
01:55:34	やはりその数字はそのままで使うものじゃないんじゃないかと。
01:55:37	いう記事も出てくる。
01:55:41	そのまま使うというのであればその差分についても、
01:55:49	正として、
01:55:50	最終的に使うときに、整合した。
01:55:54	はい。
01:55:56	関西電力野本でございます。
01:55:58	ございます。
01:56:00	入れる、入れないの。整理を今後していかなきゃいけないけれども、今、検討の中で表層あるベースでやっていることが、後に表層をやっばり考慮せずにこういうふうにするんだってなったらその層が出てくる話になるので、
01:56:14	そこをちゃんと、最後まで整合とれる形です。
01:56:19	内田参与。
01:56:20	おっしゃってる
01:56:21	ようすみませんありがとうございますすいません。
01:56:36	そっか。書き方はちょっと不工夫いるけども、表層はちゃんと見るというのが基本スタンス。
01:56:43	我々基本地盤モデルではありますけれども、それでも最後設計の時に見ないってなったときに、
01:56:50	もしもね、
01:56:52	もうもしもなったらばちゃんとそれ整合とっとけよということをおっしゃってる。
01:57:00	了解です。はい。
01:57:05	成長竹田リースその他規制庁側から確認ございますでしょうか。
01:57:14	規制庁上出ですけど、いいですか規制庁、どうぞ。
01:57:19	すいません。どうぞ。
01:57:22	はい。規制庁羽場関です。

01:57:25	ちょっと話があった気が話になるんですけども今回資料 21 ページから、流動化処理の説明が追加されてますんで、
01:57:36	まずですね、次の 22 ページ見てもらいますと流動化処理の範囲ということなんですけど、これ、G-14 のところもありってこの図面にはない。
01:57:47	ように思うんですが、
01:57:52	どう。
01:57:53	あったんでしょうか。
01:57:57	河西晃伸でございます。衛藤。今データの中には入っていない、おりますおりいないという
01:58:03	ございまして、
01:58:08	ない。
01:58:14	分析の方でございます。対応。
01:58:17	G-13
01:58:19	が処理で処理をされて、周辺はございますが、
01:58:25	今回ですね、今、この構内でとらえております流動化処理等のもので、平均値をお示しするというので、ちょっとこの図をつけてですね、
01:58:38	3、
01:58:39	喜納さん。
01:58:42	つきましては
01:58:48	はい、規制庁は滝です。これ、前回か前々回のお話をしたこちらから指摘したかと思うんですがまさにこの東側、
01:58:58	Z それから G の需要については、次、次兵頭解析モデルとして、競争を無視したモデルを使ってるわけですよ。それは、
01:59:08	その時の説明はマリオ流動化処理で覆ってるからってという説明があったかと思えますんで、その節に流動化処理についても、
01:59:19	範囲、それから深さについて説明をしてくださいというお話をしました。
01:59:25	で、事務事業についても範囲と深さですね、今この平面的な広がりしか見えられませんが、その説明の方をまずお願いします。
01:59:36	よろしいですか。
01:59:38	できませんありました。
01:59:40	関西電力の方でございます。承知いたしました。

01:59:45	はい。規制庁真崎です。その上でなんですけれども、例えば今これZの周りですね右側の、
01:59:53	流動化処理の範囲を見ると、
01:59:56	かなり
01:59:58	広がりを持って、流動化処理って周りを負ってるっていうふうには見えません。
02:00:04	そうすると、例えばこういった状態ですと、二次元の平面の広がりを考慮したモデルを作って、周辺の表層地盤で、建物の近傍に関しては、流動化処理、
02:00:21	ていうようなモデルを作って、自主防とか意識をする。
02:00:24	或いは二重のバックのような形で、この物性の違いをモデル化の中に反映するという解析をすると思います。その上で、
02:00:35	流動化処理を考慮することによって、保守的な応答が出るからということで、競争を無視するっていう、そういうロジックっていうのは考えられるんですけれども、
02:00:48	今ですねそうすると、この流動化処理以外の東側の表層地盤の物性値っていうのはわかっていないっていうか我々に示されてないというふうに理解してるんですけれども。
02:01:01	今後それは提示されるのでしょうか。
02:01:10	重ねるのでございます少々お待ちください。土谷。
02:01:14	今、今言うてるのは、
02:01:16	水色あるけども、もし設計は、
02:01:24	これは流動化処理と本
02:01:26	の周辺でございますが、この周辺の
02:01:31	断面等をですね、ご提示したいというふうに思っており、
02:01:39	はい規制庁浜崎です今回表層地盤の話って周辺埋め戻し等の話ですよ。ね。整備されるのはいいんですけども、この東側に関しては、
02:01:50	埋め戻しの対象外になってるというふうに理解してますので、実態の表層地盤はどうなってるんですかという情報の方も説明をしてもらいたいと思います。
02:02:01	それは可能という理解でよろしいんですよ。
02:02:04	はい。檀清家
02:02:09	規制庁浜崎です。よろしく申し上げます。

02:02:11	以上です。
02:02:15	規制庁神です。
02:02:18	表層の資料だと、さっきのページ、
02:02:22	随時になってる。
02:02:25	あります。7ページのお話受けて、
02:02:29	いきなり、
02:02:31	一緒に管理してるから、平均だっていう結論出ちゃうんですけど、あとは4月の会合だと、そうは言っても、ちょっと、
02:02:41	周辺でとったものと平均の差があるじゃないかみたいな話については宿題となっていると思うんですけど、かつ、
02:02:51	今この資料のリバイス版がいつ出てくるかっていうスケジュールは示されてないんですけど、会合より前の段階
02:03:00	とですね、今週の木曜日に、ツウヒンのほかもありますけれどもそれをまとめた形でお出ししようとしてましてそこに、この次の分もお出でしようというふうに考えて
02:03:12	はい。
02:03:22	いつです。
02:03:25	軽微な、
02:03:27	人です。
02:03:28	5ページー平面図、
02:03:31	あるんですけども、
02:03:34	ボーリング地点として、青色、
02:03:37	うん。
02:03:38	例えば右下6月って書いてあるものになって、
02:03:43	何か建物の一部重なっているんですけど、
02:03:47	戻して建物周辺の埋め戻し、
02:03:51	あ、はい。うちの部分かな。
02:03:54	こういった建物の一番、六車のデータがとれてる。
02:04:02	ちょっと、設計部ですが、ちょ
02:04:07	時期的にですね多分、ボーリングをした後にですねこの建屋が建った可能性、全体的に埋め戻した後にですね、立ったこと、可能性がございますので、ちょっとこの辺は、
02:04:18	もう1回ちょっと確認させていただけますでしょうか。

02:04:22	はい。確認をお願いします。
02:04:24	今もう
02:04:25	お話をずっと、
02:04:28	作って全体を戻し施工した後に、
02:04:31	この建物の部分だけ掘削して建物、
02:04:34	よく、
02:04:35	ということかなと思います。
02:04:37	そうすると今、現時点ではこの時点に埋め戻しではないんですけど、
02:04:41	へえ。
02:04:43	その建物を建てる前の埋め戻しのデータは、他の場所と、こうも例えば品質管理とか話なので、使えるぞと。
02:04:52	私が言うことでございます。ただそういった考えのもとでこれも使えるデータとして位置付けている。
02:05:00	というような、
02:05:03	一番の補足。
02:05:14	見える。
02:05:19	真ん中に TY20 のなんて、
02:05:21	ね。
02:05:22	の問題、こういったところも、単に今の制度からしてそのようにしてるだけでちゃんととれてる。今おっしゃったような施工の順序の関係で、
02:05:34	重なっちゃってるのかその辺りもちょっとご確認いただいてですね、この説明に反映をしていただければ、
02:05:41	思います。
02:05:42	はい。関西電力の方でございます承知いたしました。
02:05:59	規制庁の武田です。勝店長から確認はございますでしょうか。
02:06:10	現場。
02:06:13	21 ページに、流動化処理の、
02:06:16	3、
02:06:17	ハンターの記載があるんですけど、
02:06:22	これはセメント幾ら特化させますよということと、MARK-I 共同使用、共同管理で、これぐらいは出るように、
02:06:34	御説明から、

02:06:37	あれですね、変形特性ですね Vs とか、SHAKE 入力する、与えていうものを一定ですと、ばらつかないですよということは、これだけの説明では、十分にいえることなんでしょうか。
02:06:54	これデータは東電社長でございます
02:06:58	データにつきまして 23 ページのですね。
02:07:01	これ G0 がですね書いてございます。これは VS、実際に高野速度とエロって言い方ですね。次、実力 VM の
02:07:12	求め、
02:07:15	どこだ
02:07:16	笹井が入ったものでございますので、それほど大きな変動が出るものじゃないわけなのですがちょっとここでちょっと差が出てますけども、
02:07:51	2、
02:07:54	規制庁からです。今の話は、
02:07:57	先週も話をしている、こういう管理をしてるからいいんですよだけじゃなくて、そのあと、もう検査なりなんだから、
02:08:05	のデータをこう見るから、実際やった後、同じ飛び出しますって話をしてくださいって言った判例集の話なんで、そのあたりはもうちょっとですね。
02:08:16	なると思って私は聞いてます。
02:08:20	はい。
02:08:33	です。
02:08:34	流動化処理等の図を示していただいて、
02:08:41	建屋に丸ごと流動化処理していれば、その建屋については流動化処理増、
02:08:48	そのデータを使うと。
02:08:50	いうのがわかるんですけど。
02:08:52	片面だけになっていたりするところが結構あって、
02:08:57	また流下処理で、その種、
02:09:02	建屋時期から数、
02:09:04	少し離れたところまでと。
02:09:06	いう範囲ですか。これは第 1 回の申請の時にも、
02:09:13	どこまでその影響がなくて済むためじゃない、液状化の原因としたい。
02:09:18	いうことをしましたけど、

02:09:21	これってどこまでどう反映するのがいいのかっていうのいまいち、
02:09:25	どんどん見てもよくわからないんですけど。
02:09:28	ちょうど、
02:09:29	ちょっと今度から増えて、
02:09:31	次のステップのような気もしますが、
02:09:33	どう思えばいいんでしょうか。
02:09:41	の、
02:09:52	草場家田
02:09:56	等方向に、
02:09:59	六ヶ所相当ですね。
02:10:03	保守性を、
02:10:04	で、こちらの方の、
02:10:06	六ヶ所創造性も同等。
02:10:11	そういう
02:10:13	の全周を見回してですね。
02:10:15	どれをやるのが最適だと
02:10:28	建屋周辺には埋戻動があり冷蔵か処理場があると。
02:10:33	いう状況なのでまず事実関係としてどういうものがあるのかを一通り、
02:10:37	説明するっていうことで今あって、
02:10:40	うん。
02:10:42	基本はその周辺の、
02:10:45	物、
02:10:46	ということなので1回並べて、その上で、それぞれのところを設置、
02:10:55	後の設計、
02:11:03	古作です方向性わかったんですけど、これは先ほど言ったように、最終的にどう設計するのかの更新もある程度セットじゃないと。
02:11:14	ということなんですけど、
02:11:17	片面だったり何なりっていうことを踏まえると、流動化処理とそのまま使うってことはあんまりないのかなって気もしたんですけど。
02:11:27	そのあたり、何か整理すよ。
02:11:39	方でございます今ちょっと答えとして、どうもご提起できない状態ですのでちょっとあの中でもちゃんと整理したいと思います。
02:11:49	はい。

02:11:50	やはり第1回でも議論
02:11:53	をしたところで、
02:11:55	その外の影響はっていうことも、
02:11:58	あたりするの。
02:12:01	それ、第1回の結果、議論の結果も含めながら、どう扱うのかというのを整理をして、
02:12:13	お母さん、
02:12:24	その過去の資料で確認はございますでしょうか。
02:12:29	よろしいでしょうか。
02:12:39	はい。
02:12:47	はい、麻生層ですね。その会状態です。衛藤。それでは、本日、確認をしていた予定してきた資料の確認としては以上となります。
02:13:02	それでは、
02:13:04	まだ時間を取ってから振り返りということでよろしいでしょうか。よろしく願いいたします。
02:13:12	15分。
02:13:13	すいません。
02:13:17	堀尾
02:13:18	少しございます。すいません、15分いただけたらと思います。
02:13:21	それではただいま15時44ページ、16時に、
00:00:01	規制庁の竹田です。それでは再開いたします。それでは日本原燃の方から、
00:00:07	お願いします。
00:00:18	それがにおきまして、わかった生活です。
00:00:23	ということで、
00:00:30	私どもの1インタビューとしましては、
00:00:36	これだけ、はい。載せてこうです。
00:00:39	これ加えて、AとB4。
00:00:50	その次スクラブ。
00:00:54	岩盤部分の非線形性でございますけども東側につきましては、旧大東家旧大西と比べまして、法政低下は全体に大きいと。
00:01:05	よく踏まえて今日は西東出層の傾向を考察することということをいただいております。

00:01:11	岩盤の方の減衰定数ですけれども、下水の土手の結果出しております伝達関数再現解析について、それぞれですねどのような観点で結果を確認しているのか特に伝達関数なんかは見た目ですね返りがあるように見えるけど、
00:01:28	これをどういうふうに考えていやこっち来てるのかと言ったようなことも踏まえて、説明することでまた再現解析もですね最後あるものに対しての辻井いたしますと言ったようなところをまた
00:01:40	充実して参りたいというふうに思いますが、自営による収束計算がですね徹底するかどうかという観点での説明を追加することというのをいただいて、
00:01:50	2番目、熱量層の検討として、既認可におけます設定根拠 JAF における手法、施工の実績を踏まえまして弱に基づく検討を一般的な手法として、採用様のロジックが、
00:02:04	明確になるのに、構成を見直すこと。
00:02:08	3番目設定に用いろを減衰定数の設定におきまして、現状としての考え方の説明を追加することということで今の検討がどういう位置付けになるものかと。
00:02:20	いうことをちゃんと明確にすることということでそれをちゃんと介護資料にも、
00:02:25	後でいただいております。
00:02:29	4番目です定数の設定を受ける表層地盤部分の考え方について、これちょっと今、技術の方で整理させていただきましたけども、記載しまして、
00:02:39	競争になって、
00:02:42	そこは責任を負っている。
00:02:44	考え繋がるよ。
00:02:46	核定数
00:02:47	全部記載。
00:02:50	最後表層 2 番
00:02:51	けれども、ルートが処理なの。
00:02:54	深さ、それから品質管理データの確認結果これの追記を、をするかということでございます。

00:03:01	それから岩部梅本紫藤のボーリング孔位置について、データられた後に建屋等が設置されているのかちょっと重なっているところの事実関係を確認するとともに、もしもデータを取った後に建屋を積してると。
00:03:15	いうことをやれば、そこのデータを我々どう考えているのかのちゃんと考え方を説明を追求すると、いうことでございます。
00:03:23	で、次、建屋のですね片面だけに、富沢処理とかポンプするとかそういうふうな場合の扱いについて今後設定ってどのように扱うかについて、整理して説明することだ。
00:03:35	これだけいただいているということでございます。以上でございます。
00:03:40	品質管理データは、上本1についても、
00:03:44	患者さんのおっしゃられたので、
00:03:47	それを追記させていただきます。
00:03:50	はい深沢です。
00:03:53	はい。
00:03:54	はい。
00:04:05	規制庁上出ですけど。
00:04:08	今表層が表示されて表層の話だからすると、木曜日にまた次の紙バージョンが出てくる。
00:04:17	それが先週のヒアリングのコメントはインバージョン
00:04:20	今回のやつっていう
00:04:23	間に合いそうだとか、何か常に工事遅れが発生しちゃうとか、
00:04:36	研究生の
00:04:39	何か傾向を考察することという、バック、
00:04:46	何をもちって同じとするのは違うのっていうの考え方なんで、
00:04:51	競争だけじゃなくて今後いろんなステップ踏んでいろんなものを、
00:04:57	比較するんだと。
00:05:00	そういった
00:05:01	理由をもって、同じとするのか、違うものとする。
00:05:05	いうと、
00:05:08	それぞれ
00:05:09	示していく。
00:05:20	ここは、
00:05:22	そういうことになる。

00:05:23	集計だとそうです。
00:05:35	それ、
00:05:38	多分、地震応答解析の結果に有意に影響を与えるのかみたいな、
00:05:45	油井。
00:05:46	南野。
00:05:48	単純に入力地震動だけのな、例えば、
00:05:57	北井にどンドン、
00:05:58	それ以前とかいったもの、
00:06:02	もう誘導5割と。
00:06:05	そもそも機器がないから、
00:06:14	有意か有意ないかっていうところはちゃんと示し
00:06:22	もう今何となく一次周期、こういう周期、
00:06:25	見て、
00:06:27	間違ってますんからとか、そういう、
00:06:40	いろんな、もう1回見せて、
00:07:02	集約され、具体的に、
00:07:06	湯浅がちょっと違うときに、平均化していいねとかそういう話。
00:07:14	考慮した上で判断するという
00:07:18	おっしゃる通り、はい。そうです。確かに、
00:07:37	まあまあ。そうですね。はい。
00:08:07	規制庁竹田です。江藤振り返りの方ありがとうございます。江藤の振り返り、規制庁側から何か他ございますでしょうか。
00:08:19	はい、規制庁幅先ですちょっと表層のところを映していただいていいですか。
00:08:27	①は流動化処理の話ですよ先ほど申したのは東側地盤で、東側地盤の表層の情報ですね。
00:08:40	だからそれは伴飯塚様はそれに提示されてないのか、30
00:08:59	規制庁浜崎ですけれども、1034もそうですけれどもZの周りにしても、流動化処理の外の
00:09:09	外側の表層地盤って、
00:09:11	どういう物性値かとか、使ってるんですかっていう説明をしてくださいっていうことを言ったと思います。
00:09:34	はい、了解です。

00:09:44	その他確認はございますでしょうか。
00:09:49	よろしいでしょうか。
00:09:52	衛藤全体を通して何かございますでしょうか。医長はいかがですか。
00:09:58	大丈夫です。
00:09:59	県が何かございますでしょうか。
00:10:01	はい。特にございません。はい。それでは本日のヒアリングは以上とさせていただきます。お疲れ様でした。
00:10:09	ありがとうございました。